

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

■ 第2次総合計画

基本方針(政策)	1	産業基盤の維持・発展を図るとともに京丹後型「新グリーン経済」を構築します
計画項目(施策)	2	地域特性を活かした農林業の振興
<施策分野>		<農林業>

所管部局	所管部局長の氏名
農林水産環境部	吉岡 茂昭
農業委員会事務局	近藤 淳

1. 総合計画で掲げている目的など **PLAN**

施策の目的	本市農業の活性化をめざし、農業経営基盤の安定化に努めるとともに、6次産業化の推進や農産物のブランド化など、本市の特徴を活かした農業を推進します。また、優良農地の確保と有害鳥獣対策に努めます。 林業については、森林のもつ公益的機能の維持強化をめざし、持続可能な林業経営等に努めるとともに、森林環境・景観の保全を図ります。
施策方針(めざす姿)	多様な担い手の確保・育成を図りながら農地の集積を進め、生産性の向上を図るとともに、6次産業化による付加価値の高い農産物・加工品を創出し、担い手所得の向上を図ります。 また、グリーンツーリズムや農業体験による都市住民との交流を推進します。 林業については、集落と一体となった森林整備の促進、森林経営計画を策定することにより、森林整備の効率化を進めます。また、6次産業化をめざし、市内業者と連携を図りながら木材の消費拡大を促進します。

【参考】施策に関連する個別計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
京丹後市生物多様性を育む農業推進計画	豊かな自然・農村環境を後世にわたり維持・継続できるよう、「生物多様性を育む農業」を推進し、持続可能な農業の発展を目指すために策定したものの	平成23年6月	平成23年度～平成28年度	
京丹後市農村環境計画	市内で行われる農業農村整備事業における環境への配慮の基本的な考え方や整備方針を定めたもの	平成19年3月	計画期間の定めなし	
京丹後市農業農村振興ビジョン	「第1次京丹後市総合計画(平成18年3月策定)」の基本構想及び基本計画で示された産業分野の基本方針や農業分野の諸政策、さらに京都府の「京都府丹後活動プラン」など上位・関連計画を踏まえながら、より具体的な本市の農業・農村の振興方針を農業政策と農村政策の両面から示したものの。	平成20年3月	平成20年度～平成28年度	計画策定後5年を経過した段階で中間見直しを行い、概ね10年を経過した段階で抜本的な見直し
京丹後市農業経営基盤強化の促進に関する基本構想	効率的かつ安定的な農業経営の育成を図るため、育成すべき農業経営の目標を明らかにし、その目標に向けて農業経営の改善を計画的に進めようとする農業者に対して、農用地の利用の集積及びこれらの農業者の経営管理の合理化、農業経営基盤の強化を促進するための措置を総合的に講じることを定めたもの。	平成17年4月	平成17年度～平成26年度	平成24年12月見直し
京丹後農業振興地域整備計画	農業の振興を図るべき区域を明らかにし、その土地の農業上の有効利用と農業の近代化のための施策を総合的かつ計画的に推進することを目的に定めたもの。	平成18年8月	平成24年度～平成33年度	平成24年3月改定
京丹後市農産物流通戦略	卸売市場を介した販売のほかにも多様な流通形態が存在する中、生産、流通、行政、消費者等の関係機関が一体となって、今後の農産物流通対策の取組を推進するための指針。	平成24年3月	計画期間の定めなし	
中山間地域等直接支払 京丹後市基本方針	農業生産条件の不利を補正する中山間地域等直接支払交付金を円滑かつ効果的に実施するための必要な事項として、集落協定・個別協定の共通事項、集落相互間等、交付金の使用方法、生産性・収益の向上、担い手の定着、生活環境の整備等に関する目標について市の基本方針を定めたもの。	平成22年7月	平成22年度～平成26年度	平成25年7月変更
京丹後市鳥獣被害防止計画(第3期)	鳥獣被害に対する対策を総合的かつ効果的に実施するために策定。「個体数調整」、「被害防除」、「生息地管理」の3視点から総合的に対策を行い、鳥獣被害の減少を図る。	平成26年3月	平成26年度～平成28年度	
京丹後市緊急捕獲等計画	短期間で集中的に有害鳥獣捕獲を行い、鳥獣被害の減少を図る。	平成25年4月	平成25年度～平成27年度	
京丹後市森林整備計画	森林法第十条の5(市町村森林整備計画)により市町村は、地域森林計画の対象となっている民有林につき、十年を一期として、森林の整備に関する基本的事項等を定めた計画。	平成23年4月	平成23年度～平成33年度	平成24年4月1日変更

2. 行政の主な取組と構成事務事業一覧

DO

CHECK

行政の主な取り組み ↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要				評価結果	
			H26決算額	H27予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	施策貢献度	今後の方向性
① 農業担い手の確保・育成・支援 ○ 地域農業を維持・発展させるため、UJターン者や女性、定年退職者など高齢者を含めた新規就農者の確保を図り、その育成・支援に努めます。										
1	利子助成事業	農政課	736	612(340)	府規定	府・一部	含む	サービ	B	現状維持
農業制度資金を借り入れた農業者と低温被害を受けた梨生産農家に対し利子補給助成(25人、28件)										
2	農業技術者協議会活動促進事業	農政課	3,043	3,027(2,627)	府規定	府・一部	含む	サービ	S	現状維持
農業技術者協議会の運営経費の負担及び活動支援										
3	中山間地域等直接支払制度事業	農政課	66,516	69,278(17,185)	国規定	国・一部	含む	サービ	S	拡大
中山間地域の耕作放棄防止のため、農業生産活動等を行う農業者等へ交付金を交付(45集落・1個人)										

4	土地利用調整推進事業	農政課	24,734	60,600	府規定	他	-	サービ	A	現状維持
	府農業総合支援センターから受託した担い手への農地集積等を実施(88.4ha)			-						
5	農業団体等育成強化事業	農政課	1,494	3,000	市規定	単費	○	サービ	S	現状維持
	集落・地域営農組織への農地集約や作業受託を促進するための機械導入に対して補助金を交付(5団体)			(3,000)						
6	認定農業者対策事業	農政課	3,191		市規定	単費	○	サービ	S	現状維持
	認定農業者への農地集約や作業受託を促進するための機械導入に対して補助金を交付(8件)									
7	実践農場整備支援事業	農政課	700	2,980	府規定	府・一部	含む	サービ	A	拡大
	実践農場での就農研修を支援(1農場)			(1,490)						
8	就農研修資金償還金助成事業	農政課	3,708	2,268	府規定	府・一部	含む	サービ	A	現状維持
	就農研修資金の償還に対し助成(6人)			(1,134)						
9	新規就農総合支援事業	農政課	38,661	24,447	国規定	国府全額	-	サービ	S	拡大
	45歳未満の独立・自営型就農者に対し、就農後5年間、150万円/年を給付(17人16経営体)			-						
10	京丹後農業経営実践型学舎推進事業	農政課	982	9,703	なし	単費	○	サービ	S	現状維持
	府と共同で丹後農業実践型学舎事業を実施するための土地改良に対する経費を負担			(1,473)						
② 農地の保全・維持										
○ 認定農業者、法人等組織へ農地集積を進め、農地を守るとともに団地化を推進します。										
○ 土地利用計画の適切な運用を図り、優良な農地の保全・確保に努めます。										
○ 減農薬、減化学肥料の推進や冬期湛水、カバークロップなど「環境にやさしい農法」の導入による自然環境の保全に努めます。										
11	京力農場プラン作成等事業	農政課	1,579	2,944	国規定	国府全額	-	内部管理	S	拡大
	集落単位で作成された京力農場プラン(案)について検討・審査(作成実績24地区)			(762)						
12	農地・水保全管理支払交付金事業	農林整備課	68,567	265,684	国規定	府・一部	-	サービ	S	拡大
	地域ぐるみの共同活動と農村環境向上活動を支援(共同活動109組織、向上活動110組織)			(65,178)						
13	農地一般経費	農林整備課	5,668	5,053	なし	単費	○	内部管理	B	現状維持
	農業農村整備事業を円滑に推進するための経費			(5,053)						
③ 6次産業化・新たな流通対策への支援										
○ 6次産業化や農商工連携の推進により、加工品の開発を進めるとともに、直接取引による販売ルートへの支援に努めます。										
14	農産物流通対策事業	農政課	689	752	市規定	単費	○	サービ	A	現状維持
	地産地消、地産都消、輸出等への新たな取組に対して補助金を交付(3件)			(752)						
15	農村6次産業推進事業	農政課	1,324	1,356	市規定	単費	○	サービ	A	現状維持
	食と酒のPRやマッチングセミナーを開催、6次産業に意欲のある農家等に補助金を交付(3件)			(1,356)						
16	あじわいの郷支援事業【再掲】【施策4「観光」にも該当】	農政課	28,908	28,911	なし	単費	○	サービ	S	現状維持
	丹後あじわいの郷の運営管理、イベント開催支援			(28,911)						
④ 特色ある農産物の産地化支援										
○ 液肥等を利用した安心・安全な農産物の産地化を進めます。										
○ 「特Aコシヒカリ」や京野菜等特産品の生産の向上に努めます。										
17	生産・流通改善条件整備事業	農政課	5,261	-	府規定	府・一部	含む	サービ	A	現状維持
	集出荷貯蔵調整機械・施設を導入・整備した団体等に対し補助金を交付(3団体)			-						
18	加工野菜等振興事業	農政課	290	450	市規定	単費	○	サービ	A	現状維持
	国営農地での加工契約野菜栽培について、減農薬による作物づくりと省力化による実証栽培事業に対し補助金交付			(450)						
19	集落営農発展型産地づくり事業	農政課	16,831	13,500	府規定	府・一部	含む	サービ	A	現状維持
	加工・流通販売の多角化や特別栽培米の生産拡大に係る体制整備に対して補助金を交付(4件)			(1,250)						
20	京丹後米ブランド化推進事業	農政課	4,465	1,900	市規定	単費	○	サービ	A	現状維持
	売れる京丹後米のブランド化推進への支援(特別栽培米団地化207ha)			(1,900)						
21	京の米産地づくり事業	農政課	2,745	-	府規定	府・一部	含む	サービ	A	現状維持
	特別栽培米等の生産に必要な農業用機械導入団体・法人に対し補助金を交付(1団体)			-						
22	京の黒大豆・小豆等産地づくり事業	農政課	207	-	府規定	府・一部	-	サービ	A	現状維持
	小豆・黒大豆の産地拡大や生産安定に必要な農業用機械等の導入に対し補助金交付(1団体)			-						
23	中山間地域特産物生産応援事業	農政課	1,650	-	府規定	府・一部	含む	施設整備	S	拡大
	需要先と連携して水田作物の栽培に取り組むために必要な機器購入に対し補助金交付(1件)			-						
24	酒米生産加速化事業	農政課	1,800	-	府規定	府・一部	含む	施設整備	A	現状維持
	酒米の産地拡大や生産安定に必要な農業用機械等の導入に対し補助金交付(1件)			-						
25	里の地域活力再生事業	農政課	6,720	-	府規定	府・一部	含む	施設整備	A	現状維持
	里力再生計画に基づく加工品づくりの施設整備に対して補助金交付(1地域)			-						
⑤ 農業基盤の整備										
○ 多面的機能支払交付金事業に取り組み、農業の多面的機能を発揮するために、組織への支援強化を図ります。										
○ ため池等農業用施設の長寿命化対策及び安全対策を進めます。										
○ 再ほ場整備の要望地区事業化への支援を行います。										
26	優良茶園振興事業	農政課	1,117	1,100	府規定	府・一部	含む	サービ	S	現状維持
	安定生産を図るため、新たな施肥技術等の確立に向けた実証試験を支援(約550a)			(1,100)						
27	パイプハウス整備事業	農政課	14,656	-	府規定	府・一部	含む	施設整備	A	現状維持
	パイプハウス(丸条ねぎ)の整備に対して補助金を交付(2団体)			-						
28	畜産振興事業	農政課	3,370	-	国規定	国・一部	含む	施設整備	S	休止
	畜産振興を図るため、融資主体補助型経営体育成支援事業を活用した施設整備に対し補助金交付			-						
29	里の生活環境基盤整備事業	農政課	57,018	39,868	府規定	府・一部	含む	施設整備	A	縮小
	里力再生計画に基づく生活環境基盤施設の修繕・改修経費に対し補助金交付(5地域)			(2,539)						
30	小規模土地改良事業補助金	農林整備課	2,715	2,500	市規定	単費	○	維持管理	S	拡大
	集落等が実施した農業用施設の維持管理に係る機械借上料・原材料費に対して補助金を交付(交付件数16件)			(2,500)						

31	小規模農業基盤整備事業 機能低下した農業用施設の改修工事(2件)	農林整備課	2,202	-	市規定	単費	○	維持管理	S	現状維持
32	小規模農業基盤整備事業【明許繰越】 老朽化等により機能が低下した土地改良施設の小規模改修	農林整備課	-	4,297 (4,297)	平成26年度事業の一部を繰り越して実施する事業					
33	国営丹後土地改良事業負担金 国営土地改良事業に係る市及び受益者の負担金について、規定償還と繰上償還	農林整備課	14,192	11,481 (7,581)	国規定	単費	○	内部管理	S	現状維持
34	里の農業生産基盤整備事業 機能が低下した農地や土地改良施設の改修及び改良を実施	農林整備課	10,125	-	府規定	府・一部	-	維持管理	S	終了・廃止
35	経営体育成基盤整備事業 府営ほ場整備事業の市及び地元負担金の納入(大宮町森本地区)	農林整備課	3,150	-	国規定	府・一部	-	施設整備	S	終了・廃止
36	経営体育成基盤整備事業【明許繰越】 大宮町森本地区の農地のほ場整備	農林整備課	-	1,969 (2)	平成26年度事業の一部を繰り越して実施する事業					
37	ため池等整備事業 府営ため池等整備事業(丹後町大山堰は固定堰を自動倒伏の可動堰に更新)の市及び地元負担金の納入	農林整備課	324	15,000 (1,200)	国規定	国・一部	-	施設整備	S	現状維持
38	農業競争力強化基盤整備事業 久美浜町女布地区のほ場の大区画化と揚水既、用水路等の改修に係る負担金	農林整備課	11,091	28,862 (1,602)	国規定	府・一部	-	施設整備	S	現状維持
39	土地改良施設維持管理適正化事業 土地改良施設管理の診断及び指導(8か所)、土地改良施設維持管理適正化事業賦課金(7地区)	農林整備課	30,295	17,155 (6,155)	国規定	他	-	施設整備	S	現状維持
40	団体営調査設計事業 ほ場整備事業採択に向けた従前地調査の実施、ほ場整備区域の特定を進めるため地形図を作成	農林整備課	20,012	2,530 (2,530)	国規定	府・一部	-	施設整備	S	現状維持
41	宇川地区農業用施設改修事業 農業用管水路(石綿管)の改修工事と改修工事に向けた測量設計等を実施	農林整備課	72,234	38,658	国規定	国府全額	-	施設整備	S	現状維持
42	現年発生農地・農業用施設災害復旧事業【明許繰越】 災害により被災した農地・農業用施設の復旧工事を実施(22か所)、復旧事業に対し補助金交付(10か所)	農林整備課	69,620	-	国規定	国・一部	含む	施設整備	S	現状維持
43	現年発生農地・農業用施設災害復旧事業 災害により被災した農地・農業用施設の復旧工事測量を委託実施(1か所)、復旧事業に対し補助金交付(29か所)	農林整備課	4,013	-	国規定	国・一部	含む	施設整備	S	現状維持
44	現年発生農地・農業用施設災害復旧事業【明許繰越】 災害により被災した農地の復旧工事	農林整備課	-	2,000 (2,000)	平成26年度事業の一部を繰り越して実施する事業					
45	農業基盤整備促進事業【明許繰越】 大宮町三重地区藤曾堰の改修工事を実施、農道の舗装工事を実施	農林整備課	38,142	-	国規定	府・一部	-	施設整備	S	終了・廃止
46	尾和地内農道等改修事業【再編交付金活用事業】 丹後町尾和地区の西野新田農道の舗装工事と用水路の改修工事を実施	農林整備課	4,136	-	なし	国・一部	-	施設整備	S	終了・廃止
47	農道改修整備事業【再編交付金活用事業】 丹後町尾和地区と袖志地区における老朽化した農業用水路の改修・農道舗装のための測量設計経費	農林整備課	-	32,500 (1,700)	新規事業					
48	農業委員会活動事業 農地法等に基づく許認可の審査の実行・諸証明の発行、農業委員会だよりの発行(年3回)	農業委員会事務局	9,576	9,914 (9,914)	義務	単費	○	-	S	現状維持
49	農業者年金事務 農業者年金加入者及び受給者の適正な資格の管理(受給者数432人)	農業委員会事務局	727	726	国規定	他	-	サービス	A	現状維持
50	機構集積支援事業 遊休農地利活用推進員・農地相談員を設置し、農地の利用調査・調整等を実施(調整553筆、面談82件)	農業委員会事務局	5,900	5,198 (577)	国規定	国・一部	-	サービス	A	現状維持
51	農業委員会一般経費 農業委員会事務局の事務等に要する経費	農業委員会事務局	232	623 (623)	義務	単費	○	-	S	現状維持
⑥ 有害鳥獣対策の推進 ○ 有害鳥獣捕獲の担い手確保対策の拡充による捕獲体制の強化を図ります。 ○ 鳥獣被害防止総合対策を活用した防護柵の設置を支援します。 ○ ニホンザルの個体数調整捕獲の実施を含めた被害対策の強化を図ります。										
52	有害鳥獣捕獲事業 有害鳥獣の捕獲(イノシシ1,343頭、シカ3,825頭、サル52頭、小動物153匹、鳥類511羽)	農林整備課	86,432	87,128 (41,868)	府規定	府・一部	含む	サービス	S	拡大
53	有害鳥獣防除事業 地域ぐるみのサル追い払い体制の整備(ロケット花火等配布)、地域に出没するサル追い払いのサポート実施	農林整備課	10,902	8,350 (3,450)	なし	単費	○	サービス	B	縮小
54	猪・鹿肉処理施設運営管理事業 「京たんご ぼたん・もみじ比治の里」の維持管理及び運営(搬入頭数:猪82頭、鹿558頭)	農林整備課	10,634	11,520 (3,448)	なし	単費	○	維持管理	A	現状維持
⑦ 都市と農村との交流 ○ 農家民宿等のPRや開業セミナーに取り組みます。また、定期的に首都圏の旅行業者、学校等に市内の農家民宿プラン(修学旅行・田舎暮らし体験プラン等)を紹介し誘客を図ります。 ○ 滞在型市民農園「京丹後市蒲井シーサイドラインガルテン」のPRに努め、都市住民との交流を図ります。										
55	元気な農村地域づくり事業 市内の農業イベントに対して補助金を交付(3イベント)、都市部のイベントに出展する農業者等を職員派遣により支援	農政課	2,326	2,813 (2,813)	市規定	単費	○	サービス	B	現状維持
56	都市農村共生・対流総合対策事業 活力と魅力ある地域づくりを推進する団体に対し事業資金を一時的に貸し付け(1団体)	農政課	4,000	2,000	市規定	単費	○	サービス	B	縮小
57	都市農村交流推進事業 農林漁家民泊推進開業セミナーを開催、農家民宿を活用した大学生ツアーを実施等	農政課	632	531 (531)	なし	単費	○	サービス	A	現状維持
58	クインガルテン管理運営事業 農園付宿泊施設及び周辺施設等の維持管理	農政課	2,333	3,304	市規定	単費	○	維持管理	A	現状維持

⑧ 林業基盤の整備
 ○ 集落と一体となった森林整備の促進、森林経営計画の策定により、森林整備の効率化を図ります。
 ○ 猪・鹿等を里に寄せ付けない集落周辺の里山林の整備を進めます。
 ○ 森林施業を効率的に行うため、森林情報の共有・活用、森林所有者・境界の明確化を図ります。
 ○ 林道・作業道の整備・改修を進めます。
 ○ 松くい虫の防除に継続して努めます。

59	獣害防止里山林整備事業	農林整備課	1,300	605 (182)	国規定	府・一部	-	維持管理	B	現状維持
人と獣との緩衝帯を設置する里山の整備を行うため、不要木の伐採と作業路の開設を行い、伐採木を搬出										
60	放置竹林拡大防止事業	農林整備課	1,057	996 (498)	府規定	府・一部	-	維持管理	A	現状維持
森林に侵入した竹林の伐採、搬出(整理伐0.21ha、竹材搬出1,403本)										
61	松くい虫防除事業	農林整備課	16,699	6,628 (1,876)	府規定	府・一部	-	維持管理	A	現状維持
海岸沿いの防風林に対し薬剤散布(14.0ha)と枯れの松の伐倒処理(50m3)、焼却駆除(107m3)、樹幹注入(602本)を実施										
62	森林施業路開設事業	農林整備課	3,720	-	市規定	単費	○	施設整備	S	拡大
森林施業路開設事業(路線延長6,715m)に対する補助金交付										
63	間伐施業事業	農林整備課	3,547	-	市規定	単費	○	維持管理	S	拡大
間伐施業事業(間伐面積33.37ha)に対する補助金交付										
64	市行造林事業	農林整備課	9,026	12,500 (5,500)	国規定	府・一部	-	維持管理	A	現状維持
市行造林契約地において保育施業(10.25ha)を実施(間伐、作業路開設)										
65	小規模林道整備事業補助金	農林整備課	669	1,100 (1,100)	市規定	単費	○	施設整備	A	現状維持
地区が実施する小規模な林業用施設の維持管理及び保全に対して補助金交付(4か所)										
66	林道等整備事業	農林整備課	6,619	10,221 (10,221)	なし	単費	○	維持管理	A	現状維持
林道等の維持管理(丹後縦貫林道の草刈・修繕)を実施										
67	現年発生林業用施設災害復旧事業	農林整備課	1,307	-	市規定	単費	○	施設整備	A	現状維持
災害により被災した林業用施設修繕を実施(1か所)、復旧事業に対し補助金交付(5か所)										
68	現年発生林業用施設災害復旧事業【明許繰越】	農林整備課	17,306	-	国規定	府・一部	含む	施設整備	A	現状維持
災害により被災した林業用施設の復旧工事										

⑨ 林業担い手の確保
 ○ 若い林業労働者の確保及び定着を図るため、機械導入による労働環境の改善及び共済事業や社会保険事業にかかる経費の支援を行います。

69	林業労働者支援事業	農林整備課	4,056	3,440 (1,802)	府規定	府・一部	-	サービス	A	現状維持
森林組合の基幹的作業班員の雇用確保及び定着を図るため、労働者の共済事業掛金に対して支援										

⑩ 林産物の生産
 ○ 市内事業者と連携を図りながら木材の消費拡大をめざします。
 ○ 森林整備を進めるとともに、木質バイオマス燃料の生産と安定供給及び需要の拡大を推進します。

70	林業総務一般経費	農林整備課	703	857 (857)	なし	単費	○	内部管理	A	現状維持
林業振興推進のための業務に必要な経費、林業関連団体への負担金に対し補助金交付										
71	木質バイオマス利用促進事業【明許繰越】	農林整備課	58,534	-	市規定	国・一部	-	施設整備	S	休止
森林整備を促進するために必要な木材流通・加工施設の整備に対し補助金交付										

上記の「行政の主な取組」への位置付けが困難な事業

72	農業総務一般経費	農政課	5,854	7,901 (7,901)	なし	単費	○	内部管理	B	現状維持
農業行政推進に必要な経常経費及び各種農業関連団体への負担金を支出										
73	農業総務一般経費【明許繰越】	農政課	-	3,466 (3,466)	平成26年度事業の一部を繰り越して実施する事業					
農業総合地図情報システム更新経費										
74	明日の京都村づくり事業	農政課	1,199	5,500 (500)	府規定	府・一部	-	サービス	A	拡大
「京都村づくりプラン」の策定や活動を支援し、農村地域の活性化を図る取組に対し補助金を交付										
75	里の人づくり事業	農政課	7,500	4,500 (2,250)	府規定	府・一部	含む	サービス	A	縮小
里力再生計画の策定及び地域の再生活動に対して補助金を交付(5地域)										
76	水田農業振興推進事業	農政課	8,684	11,806 (2)	国規定	国府全額	-	サービス	S	現状維持
経営所得安定対策の推進を図るための経費										
77	畜産振興一般経費	農政課	38	46 (36)	なし	単費	○	内部管理	A	現状維持
畜産行政事務・畜産振興を円滑に実施するための経費										
78	アグリセンター管理運営事業	農政課	7,264	7,266 (5,729)	市規定	単費	○	維持管理	B	現状維持
アグリセンター大宮の維持管理及び運営(利用件数1,092件、利用人数27,758人)										
79	農業関連施設管理運営事業	農政課	1,145	1,693 (491)	市規定	単費	○	維持管理	B	現状維持
指定管理施設(3施設)・弥栄農家用貸付住宅(4棟)・弥栄都市農村交流施設の維持管理										
80	構造改革促進事業	農政課	1,000	601 (61)	国規定	国・一部	含む	サービス	A	現状維持
圃場整備を行った後の土地利用集積や産地づくりに向けての学習や会議などに要する経費										

計	910,894	876,707 (242,852)
---	---------	----------------------

※ 合計金額には再掲事業を含んでいません。
 ※ 5と6の事務事業は、平成27年度当初予算において統合され1つの事業となっていることから、H27予算額及び今後の方向性(施策評価)欄を結合表示しています。

【参考】総合計画で掲げている市民等の役割

市民等の役割	① 積極的に農家民宿等を開業し、都市住民等を受け入れます。 ② 担い手の確保や育成に積極的に協力します。 ③ 集落で地域農業の将来像を協議し、プラン等の作成により農地を計画的に守ります。 ④ 森林整備に必要な森林経営計画の策定に積極的に協力します。 ⑤ 設置した防護柵の維持管理を行い被害防止効果の向上を図ります。 ⑥ 不用果樹の除去、追い払いの実施による鳥獣被害に強い環境整備を図ります。 ⑦ 地域ぐるみの被害防除体制を構築します。 ⑧ 木材・木質燃料を積極的に活用します。
--------	---

【参考】個別計画で掲げている目標値

指標名	説明・備考	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		
京丹後市生物多様性を育む農業推進計画								
有機JAS認定者		人	4	H22	5	H26	10	H28
特別栽培(米)の取り組み者		人	221	H22	266	H26	325	H28
エコファーマー認定者		人	110	H22	126	H26	175	H28
認証GAP件数		件	1	H22	1	H26	3	H28
京丹後市農業農村振興ビジョン								
農業産出額(米)		千万円	331	H18	-※		270~360	H29
農業産出額(米以外の野菜等)		千万円	401	H18	-※		490	H29
経営耕地面積(うち担い手経営分)	担い手(担い手比率:27%→50%を目指す)	ha	997	H19	1,271	H26	1,695	H29
経営耕地面積(うち担い手経営分)	担い手以外(減少傾向の鈍化を目指す)	ha	2,616	H17	2,326	H26	1,705	H29
農用地利用集積計画面積		ha	515	H19	743	H26	2,000	H29
農業公社の設立			-	H19	農地利用円滑化 団体設立	H22	H21までに設立	
認定農業者への集積率	認定農業者の経営面積/経営耕地面積	%	25.2	H19	35.3	H26	36.6	H29
集落営農への集積率	集落営農の経営面積/経営耕地面積	%	1.9	H19	2.9	H26	13.2	H29
認定農業者の経営改善計画の粗収益の合計	各認定農業者の認定計画書の現状値の合計	百万円	2,302	H19	2,886	H26	3,000	H29
認定農業者数	農業経営基盤強化促進法による農業者数	経営体	148	H19	169	H26	160	H29
集落営農組織数	市で登録された集落営農経営体数	経営体	17	H19	25	H26	30	H29
農業産出額		千円	730	H18	-※		750~850	H29
ほまれみチャレンジ取り組み団体数		団体	-	H19	3	H26	10	H29
年間売上1億円以上の農産物数		種	11	H16~17	8	H26	15	H29
(仮)新農産物流通機構設立準備会の設置			-	H19	設置済	H20	H20年度内設置	
新農産物流通機構設立の具体的プランの策定			-	H19	農産物流通戦略 会議で策定	H23	H21年度内策定	
上記プランの実行			-	H19	未定	H26	H22年度から実行	
「がっしゅー大好き故郷づくり」取り組み集落数		集落	-	H19	8	H26	20	H29
鳥獣による農作物被害額		千円	50,000	H19	52,277	H26	30,000	H29
ほ場整備率	昭和38年度以降に整備されたものを対象	%	58	H19	59	H26	70	H29
京丹後市農産物流通戦略								
販売金額年間1億円以上の農産物数	農業農村振興ビジョンに掲げる目標	種	10	H22	8	H26	15	H29
京丹後市鳥獣被害防止計画(第3期)								
鳥獣による被害面積		ha	31.42	H25	36.02	H26	15.70	H28
鳥獣による被害金額		千円	52,807	H25	52,277	H26	26,000	H28
京丹後市緊急捕獲等計画								
イノシシ		頭	1,186	H24	1,341	H26	1,200	H27
ニホンジカ等		頭	1,276	H24	3,827	H26	1,300	H27
京丹後市環境基本計画								
牛の放牧によるバッファゾーン箇所数	豊かな自然を守り共生していくまち	か所	3	H20	3	H26	7	H30
農山漁村体験型旅行協議会会員数	豊かな財産を環境に生かすまち	会員	16	H20	16	H26	50	H30

※ 農林水産統計における農業産出額が平成19年度から市町村単位から都道府県単位の推計に変更となったためデータなし

3. 総合計画で掲げている施策方針(めざす姿)とめざす目標値

施策方針 (めざす姿)	多様な担い手の確保・育成を図りながら農地の集積を進め、生産性の向上を図るとともに、6次産業化による付加価値の高い農産物・加工品を創出し、担い手所得の向上を図ります。 また、グリーンツーリズムや農業体験による都市住民との交流を推進します。 林業については、集落と一体となった森林整備の促進、森林経営計画を策定することにより、森林整備の効率化を進めます。また、6次産業化をめざし、市内業者と連携を図りながら木材の消費拡大を促進します。							
	指標名	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
めざす 目 標 値			年度	年度	年度	年度	年度	
	新規就農者確保(青年就農給付金受給者) ※値は積算値(終了者含む)	経営体	15	H26	17	H26	70	H36
	担い手育成(認定農家・農業法人)	経営体	166	H26	169	H26	175	H36
	京力農場プラン作成集落数	集落	21	H26	42	H26	188	H36
	特別栽培米栽培面積	ha	462	H26	472	H26	600	H36
	中山間直接支払制度協定数	協定	46	H26	46	H26	50	H36
	耕作放棄地の再生面積	ha	5.9	H26	5.9	H26	8	H36
	環境保全型農業直接支払取り組み面積	ha	68.6	H26	77.5	H26	102.6	H36
	市内農家漁家民宿の開業軒数	軒	14	H26	15	H26	50	H36
	林業労働者	人	42	H26	42	H26	50	H36
	有害鳥獣による農作物被害額	千円	52,807	H26	52,277	H26	26,000	H36
	多面的機能支払交付金事業参加組織数	組織	115	H26	110	H26	120	H36

4. 施策方針(めざす姿)に対する現状評価

CHECK

施策方針(めざす姿)に対する主な成果(アウトカム)	施策方針(めざす姿)の達成に向けての課題
○農地中間管理機構を介した農地の利用集積を推進したことにより、担い手農家への農地集積を推進することができた(農地集積面積:88ha)。 ○新規就農者に対し青年就農給付金の支援を行う(支給者数:17人)とともに、丹後農業実践型学舎生(第1期生:10人、第2期生:8人)への就農支援を行ったこと等により、新規就農者の確保・育成を図ることができた。 ○担い手の確保・育成や農地集積計画などを総合的にまとめた京力農場プランが作成(新規21地区、更新3地区)された結果、該当地域における5年後の目指すべき姿を明確にすることができた。 ○都市部で食と地酒のマッチングを行い、丹後の豊富な食資源の発信ができた(マッチング参加者:市内6蔵[12本])。また、6次産業化や販路開拓の意欲的な取組を支援し、販路拡大等を図ることができた(農林水産物等商談会への参加:4回、延べ市内38事業者が参加)。 ○特別栽培米の生産に必要な農業用機械の導入や特別栽培米の団地化等の取組に対し支援を行うとともに、丹後米改良協会を中心とした関係団体が営農指導を行った結果、丹後産コシヒカリが米食味ランキング最高位「特A」を獲得することができた(平成26年度で通算12回目、直近5年で4回の獲得[西日本最多の記録])。 ○酒米の生産拡大に必要な農業用機械の導入に対し支援を行った結果、酒米の栽培面積を拡大することができた(酒米面積:14ha[H25]⇒27ha[H26])。 ○農家民宿等のPRや体験メニューの検討等を実施し、農家漁家民宿の新たな申請(4件)があった。また、教育旅行や大学ゼミ等を誘致するなど都市農村交流を進める基盤形成を推進した。 ○集落などのまとまった面積で間伐などの施業等を行うことで、森林整備の効率化と促進を図る集落林業に取り組むために必要となる森林経営計画の策定を支援し(平成26年度に2件策定)、集落林業を推進している。	○担い手農業者への農地集積と規模拡大を支援するため、農地中間管理機構を介した農地の利用集積を積極的に推進することにより、農地の有効利用や農業経営の効率化を進めていく必要がある。 ○耕作放棄地の増加が懸念されていることから、京力農場プランの作成を通じた話し合いを推進することにより、地域単位での耕作放棄地の発生防止に取り組んでいく必要がある。 ○開発した加工品を安定的に販売できる販路を開拓するため、商談会等の情報提供や参加促進の取組を進める必要がある。 ○米の食味ランキング「特A」の継続した獲得と京丹後産コシヒカリのブランド化を推進するため、高品質な良食味米の栽培技術の確立と、安定生産に取り組んでいく必要がある。 ○都市農村交流のツールとして農家民宿を広くPRし、開業を促進する必要がある。 ○木材利用の普及促進のため、木工教室など市民に木材に親しむ機会を提供することにより木材製品の購買意欲の底上げを図る中、消費拡大に如何につないでいくかを検討していく必要がある。

5. 施策の進捗状況の評価[施策方針(めざす姿)の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

進捗状況区分	評価	理由
◎ 予定以上に進んでいる	▲	平成26年度は、認定農家・農業法人数や特別栽培米栽培面積、環境保全型農業直接支払取り組み面積、市内農家漁家民宿の開業軒数の向上、有害鳥獣による農作物被害額の減少などめざす目標値に掲げる指標のうちいくつかについて進捗したものの、高齢化や担い手不足、有害鳥獣被害など農業を取り巻く状況がさらに厳しくなる中、担い手対策、京力農場プランの作成、有害鳥獣対策、6次産業化や新たな流通対策、木材の消費拡大などについて、今後も計画的に取り組んでいくべき課題がある。 以上のことから、少し遅れていると判断する。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

6. 今後の施策展開と歳出抑制の考え方(平成28～30年度までの3か年の主な取組) **ACT**

区分	No.	具体的内容	説明(特定財源名、補完・代替措置等)
施策展開の考え方	1	丹後農業実践型学舎生を中心とした新規就農者の確保・育成を図る。また、認定農業者や集落営農については、効率的・安定的な農業経営を推進するため、農業経営の法人化を推進する。	
	2	地域の中心的な担い手にまとまった農地の貸し付けを行うため、集落内での話し合いを通じて、5年後の地域農業の将来像となる京力農場プランの作成を進めるとともに、農地中間管理機構を介した農地の集積・集約化を推進する。	
	3	京都そばの振興や農業者が自ら農産物の生産・加工・販売までを行う6次産業化、農商工観連携などを推進する。	
	4	パイプハウスや農業用機械の整備を推進し、「特A評価の丹後産コンヒカリ」や京野菜等特産品の生産性の向上、安心・安全な農産物の産地化を図る。	
	5	有害鳥獣による農作物の被害額の削減に取り組む(防護柵未整備地域への設置推進、有害鳥獣の捕獲、サル の個体数調整等)	
	6	基盤整備や施設の機能保全を行うことにより、担い手の確保、農地集積の素地を作る。	
歳出抑制(歳入確保)の考え方			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	05利子助成事業	
細事業名	01 利子助成事業			決算書	P.226
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
736千円		737千円		1千円	99.8%
				(参考)当初予算額	703千円
目的	農業制度資金を借り入れた農業者に利子助成し、安定的な農業経営を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	農業経営基盤強化資金を借り入れた認定農業者及び低温被害を受けた梨生産農家に対して利子助成を行った。				
	○農業経営基盤強化資金利子助成金 農業経営基盤強化資金を借り入れた認定農業者 14人(17件)	632千円			
	○梨低温被害農林漁業セーフティネット資金利子助成金 平成22年の梨開花時期に低温被害を受けた梨生産農家 11人(11件)	104千円			
主な財源	府補	農業経営基盤強化資金利子助成費補助金(1/2)			316千円
評価・課題等	対象者に利子助成を行い、農業経営の安定を推進することができた。				
事業所管課	農林水産環境部/農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	01農業技術者協議会活動促進事業	
細事業名	01 農業技術者協議会活動促進事業			決算書	P.228
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
3,043千円		3,154千円		111千円	96.4%
				(参考)当初予算額	3,154千円
目的	農業経営基盤強化促進法に基づき、農業振興を図るために設置された農業技術者協議会の活動を支援することにより、市内全体の農業振興を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	農業経営基盤強化促進法に基づく認定農業者の審査機関としての機能を有する農業技術者協議会において、個別具体的な経営基盤強化の推進について検討を行った。また、認定農業者・集落営農等の担い手育成のため、農業経営改善支援センターを中心に経営相談及び経営改善計画の作成指導など、経営基盤強化の促進に資する活動を行った。				
	○農業技術者協議会活動経費	3,043千円			
	・農業経営改善支援センター嘱託員報酬(1人、12か月)	1,836千円			
	・社会保険料、雇用保険料	296千円			
	・費用弁償	111千円			
	・農業技術者協議会負担金	800千円			
	<活動実績>				
	・認定農業者育成数	27人(新規9人、更新18人)			
	・農業法人育成数	1法人			
	・経営改善相談活動				
	相談活動日数	延べ100日			
	対象人数	延べ169人			
主な財源	府補	認定農業者等確保・育成支援事業費補助金(1/2以内)			400千円
評価・課題等	○認定農業者・集落営農等の担い手の育成及び農用地の利用集積の推進により、市内全体の農業振興に寄与することができた。 ○更なる地域農業の振興を図るため、認定農業者・集落営農等の担い手の増加と農業法人化の推進を行う必要がある。				
事業所管課	農林水産環境部/農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	02中山間地域等直接支払制度事業																																	
細事業名	01 中山間地域等直接支払制度事業			決算書	P.228																																
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																																	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)																																
66,516千円		66,517千円		1千円	99.9%																																
					(参考)当初予算額 66,678千円																																
目的	中山間地域等において、農業生産活動等の維持を通じて耕作放棄地の発生を防止し、農業・農地の多面的機能を確保する取組を支援する。																																				
主要な 事業及び 成果の 概要	<p>耕作放棄地の増加等に伴う農業・農地の多面的機能の低下が特に懸念される中山間地域等において、農業生産活動等の維持を通じて、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する観点から、農振農用地区域内の1ha以上の農地を対象とした5か年（平成22年度～26年度）の協定を基に、中山間地域等に直接交付金を支払った。</p> <p>○中山間地域等直接支払制度推進事業 545千円 本制度の定着に向けて行う推進事務、協定農用地農業生産活動等の実施についての確認事務、直接支払交付金の交付事務経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進事務 380千円 ・確認事務 113千円 ・交付事務 52千円 <p>○中山間地域等直接支払制度事業補助金 65,971千円 集落協定及び個別協定を締結し、5年間以上継続して農業生産活動等を行う農業者等に対し、その経費について交付金を交付した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>集落協定</th> <th>個人協定</th> <th>交付額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>5,422千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>9,882千円</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>688千円</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>9</td> <td>0</td> <td>9,132千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>6,302千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>23</td> <td>0</td> <td>34,545千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>45</td> <td>1</td> <td>65,971千円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	集落協定	個人協定	交付額	峰山町	4	0	5,422千円	大宮町	6	0	9,882千円	網野町	0	1	688千円	丹後町	9	0	9,132千円	弥栄町	3	0	6,302千円	久美浜町	23	0	34,545千円	合計	45	1	65,971千円
区分	集落協定	個人協定	交付額																																		
峰山町	4	0	5,422千円																																		
大宮町	6	0	9,882千円																																		
網野町	0	1	688千円																																		
丹後町	9	0	9,132千円																																		
弥栄町	3	0	6,302千円																																		
久美浜町	23	0	34,545千円																																		
合計	45	1	65,971千円																																		
主な財源	府補	中山間地域等直接支払制度事業補助金（3/4）		49,478千円																																	
	府補	中山間地域等直接支払制度推進事業補助金（10/10）		541千円																																	
評価・課題等	<p>○農業生産条件が不利な中山間地の傾斜のある農地を維持管理する集落等において、交付金を活用した共同取組活動等により、耕作放棄地の発生を防止することができた。</p> <p>○中山間地域等の維持を図るため、新規就農者や担い手を確保する必要がある。</p>																																				
事業所管課	農林水産環境部／農政課																																				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	03農地流動化対策事業																									
細事業名	01 土地利用調整推進事業			決算書	P.230																								
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																									
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)																								
24,734千円		24,737千円		3千円	99.9%																								
					(参考)当初予算額 168千円																								
目的	公益社団法人京都府農業総合支援センター（農地中間管理機構）から農地中間管理事業を受託し、担い手への農地集積や適正な農地の保全を図る。																												
主要な 事業及び 成果の 概要	<p>平成26年7月に京都府農業総合支援センターが農地中間管理機構の指定を受けて、京丹後市は業務委託を締結して事業を推進した。</p> <p>平成26年度から平成30年度までに農地中間管理機構に農地を貸出した場合に地域集積協力金が交付される制度が創設され、平成26年度は67.5haの農地を貸出した</p> <p>○農地中間管理事業に関する受託業務 1,099 千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時職員社会保険料 145千円 ・臨時職員賃金 911千円 ・職員旅費 9千円 ・消耗品費 34千円 <p>○地域集積協力金交付事業交付金 23,635 千円</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>国営堤団地</td> <td>10.1 ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国営芋野団地</td> <td>10.0 ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国営永留1・5団地</td> <td>3.0 ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国営和田野団地</td> <td>21.5 ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国営二箇団地</td> <td>9.2 ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国営上野団地</td> <td>3.5 ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td>国営郷2団地</td> <td>10.2 ha</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>合計 国営農地7団地 67.5ha</td> </tr> </tbody> </table>					国営堤団地	10.1 ha		国営芋野団地	10.0 ha		国営永留1・5団地	3.0 ha		国営和田野団地	21.5 ha		国営二箇団地	9.2 ha		国営上野団地	3.5 ha		国営郷2団地	10.2 ha				合計 国営農地7団地 67.5ha
国営堤団地	10.1 ha																												
国営芋野団地	10.0 ha																												
国営永留1・5団地	3.0 ha																												
国営和田野団地	21.5 ha																												
国営二箇団地	9.2 ha																												
国営上野団地	3.5 ha																												
国営郷2団地	10.2 ha																												
		合計 国営農地7団地 67.5ha																											
主な財源	府補	機構集積協力金交付事業費補助金（10/10）		23,635千円																									
	諸収入	農地中間管理機構事業等業務委託金（10/10）		1,099千円																									
評価・課題等	<p>○地域との土地利用調整を適正に行い、農地中間管理機構及び地域集積協力金を活用した担い手への農地集積が図れた。</p> <p>○農地集積を円滑に図るため、地域で作成する京力農場プランと連携した土地利用調整を効率的に進めていく必要がある。</p>																												
事業所管課	農林水産環境部／農政課																												

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	04農業団体等育成強化事業		
細事業名	01 農業団体等育成強化事業			決算書 P.230		
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
1,494千円		1,500千円		6千円	99.6%	1,500千円
目的	積極的な活動を行う農業団体等の育成支援を行い、活力ある地域農業の実現を目指す。					
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	集落・地域営農組織への農地集積や作業受託を推進するため、機械・施設等の導入に対して補助金を交付した。					
	○農業団体等育成強化事業補助金 1,494千円					
	・集落営農団体等活動活性化事業(2団体)					
	町別	内 容	事業費	補助金額		
	弥栄町	フロントローダー 1台	1,080千円	497千円		
久美浜町	畔塗り機 1台	700千円	346千円			
・農業生産振興団体活動支援事業(3団体)						
町別	内 容	事業費	補助金額			
大宮町	大豆選別・選粒機 1台	660千円	327千円			
弥栄町	コギク試験種苗費 一式	120千円	58千円			
	洗浄機、チェーンソー、新商品開発費	5,366千円	266千円			
主な財源						
評価・課題等	○農業団体による作業の効率化・合理化が推進され、農家経営の安定と組織の育成強化につながった。 ○担い手不足が進行している中、集落内の作業等を請け負う集落営農組織等の育成が必要である。					
事業所管課	農林水産環境部/農政課					

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	05認定農業者対策事業		
細事業名	01 認定農業者対策事業			決算書 P.230		
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
3,191千円		3,200千円		9千円	99.7%	3,200千円
目的	認定農業者の営農及び農業経営を支援し、地域農業の振興及び活性化を図る。					
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	認定農業者への農地集積や作業受託が進むよう、農業経営改善計画による機械・施設導入経費に対し支援を行った。					
	○認定農業者支援事業補助金 3,191千円					
	町別	件数	内 容	事業費	補助金額	
	大宮	1件	パイプハウス 1棟	1,269千円	426千円	
	網野	3件	白ネギ皮むき機 1台	513千円	218千円	
フレールモア・ブラソイラ 1式			981千円	417千円		
スプリングラー 1式			2,062千円	426千円		
丹後	1件	除雪機 1台	1,000千円	426千円		
久美浜	3件	トラクター 1台	4,500千円	426千円		
		スピードスプレイヤー 1台	2,700千円	426千円		
		フレコン計量機 1式	1,620千円	426千円		
計	8件		14,645千円	3,191千円		
主な財源	府補	未来づくり交付金(認定農業者支援事業補助金)				1,500千円
評価・課題等	○認定農業者の機械・施設の導入費用に対し支援することにより、担い手の育成と農作業の効率化が図れた。 ○農作業の機械化を図る一方、安定した農業経営が行えるよう関係機関と連携した経営指導が必要である。					
事業所管課	農林水産環境部/農政課					

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	07新規就農者育成事業		
細事業名	01 実践農場整備支援事業			決算書 P.230		
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額	
700千円		700千円		0千円	100.0%	700千円

目的 地域が新規就農希望者を受け入れて新規就農に向けた研修を実施するための条件整備を支援し、地域農業の担い手の確保・育成を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

研修生の後見人確保、研修用機械・施設の確保などの条件整備を支援した。

○実践農場整備支援事業 700千円
・実施場所：久美浜町永留

内容	摘要	事業費
後見人設置	5千円×12月	60千円
研修用農地整備	草刈、耕起、均平整地など	100千円
研修用機械・施設整備	ぶどう雨よけ施設賃借料	240千円
	賃借料（スピードスプレーヤ、トラクター、小型ユンボ）	300千円
合 計		700千円

主な財源 府補 新規就農者実践農場整備支援事業補助金（1/2以内） 350千円

評価・課題等

○研修生が就農予定地域での実践的な研修を行い、地域との関係を築きながら農業技術等の習得に取り組んでいる。
○地域農業の担い手として新規就農者の受け入れを希望する地域を常に把握しておく必要がある。

事業所管課 農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	07新規就農者育成事業		
細事業名	02 就農研修資金償還金助成事業			決算書 P.230		
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額	
3,708千円		3,708千円		0千円	100.0%	3,708千円

目的 就農研修終了後、農業経営を開始する新規就農者の就農初期における負担を軽減することにより、新規就農者の確保・育成を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

京都府就農研修資金を借受け就農研修を行った後、京丹後市内において新規就農し、かつ就農時の年齢や就農形態が一定の要件を満たす者に対し、研修資金の償還金の全部又は一部を助成した。

○就農研修資金償還金助成金 3,708千円

就農地域	人数	助成金額
峰山町	1人	720千円
大宮町	2人	1,068千円
弥栄町	2人	1,440千円
久美浜町	1人	480千円
合 計	6人	3,708千円

主な財源 府補 就農研修資金償還金助成事業費補助金（1/2以内） 1,854千円

評価・課題等

就農意欲の喚起を図るとともに、就農初期の負担軽減を図ることができた。

事業所管課 農林水産環境部／農政課

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	07新規就農者育成事業	
細事業名	04 新規就農総合支援事業			決算書	P.230
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
38,661千円		38,661千円		0千円	100.0 % 28,536千円
目的	経営の不安定な就農初期の所得確保を支援するために、青年就農者に給付金を給付し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。				
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	給付対象要件を満たした青年就農者に対し、青年就農給付金（経営開始型）を給付した。				
	【主な給付対象要件】				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独立自営就農であること。 ・ 独立自営就農時の年齢が45歳未満であること。 ・ 就農地域の京力農場プランに中核的担い手として位置付けられていること。 ・ 農業経営開始後5年以内であること。 ・ 前年の総所得額が250万円以内であること。 				
【給付金額及び給付期間】					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 給付金額：原則150万円/年（夫婦受給の場合は225万円/年） ・ 給付期間：経営開始後5年間（既に経営開始していた場合は残年数） 					
○青年就農給付金事業（経営開始型） 38,625 千円					
	就農地域	H26通常給付		※H27前倒し給付	
		経営体	給付金額	経営体	給付金額
	峰山町	1	1,500千円	0	0千円
	大宮町	1	750千円	0	0千円
	網野町	5	8,250千円	5	4,875千円
	丹後町	1	1,500千円	1	750千円
	弥栄町	6	9,000千円	6	6,750千円
	久美浜町	2	3,000千円	2	2,250千円
	合計	16	24,000千円	14	14,625千円
	※国の平成26年度補正予算が平成27年1月9日に閣議決定されたことによる				
	○推進事務費（消耗品費、通信運搬費） 36 千円				
主な財源	府補 新規就農総合支援事業費補助金（10/10）				38,656千円
評価・課題等	<p>○青年就農者に対して給付金を給付し、経営の不安定な就農初期の所得確保を支援することで、就農意欲の喚起を図ることができた。</p> <p>○引き続き関係機関と連携して営農指導・支援を行い、経営の安定化や認定農業者への経営発展を図る必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	07新規就農者育成事業	
細事業名	05 京丹後農業経営実践型学舎推進事業			決算書	P.230
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
982千円		1,034千円		52千円	94.9 % 924千円
目的	京都府と京丹後市が共同で創設した「丹後農業実践型学舎」の経費負担を行い、新たに国営開発農地に入植する安定的な農業生産の担い手育成を図る。				
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	平成25年7月に創設した「丹後農業実践型学舎」に関連する京丹後市の施設及び車両等の経費を支出した。				
	○丹後農業実践型学舎研修生滞在施設の管理経費 275 千円				
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 需用費 111 千円 光熱水費（共同使用部分の水道代、下水道代、電気代） ・ 役務費 55 千円 ケーブルテレビサービス再開手数料 火災保険料 ・ 委託料 54 千円 滞在施設竣工式及び学舎第2期生入舎式の運営委託料 ・ 使用料及び賃借料 55 千円 テレビ受信料 				
○丹後農業実践型学舎液肥散布車両運搬具の管理経費 707 千円					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 需用費 546 千円 修繕料（液肥運搬車の車検修繕、液肥散布車の修繕等） ・ 役務費 134 千円 自動車登録手数料（車検代行手数料） 自動車損害保険料（液肥運搬車、液肥散布車の保険代） ・ 公課費 27 千円 自動車重量税（液肥運搬車の重量税） 					
主な財源	使用料	丹後農業実践型学舎研修生滞在施設使用料			850千円
評価・課題等	<p>○丹後農業実践型学舎事業を実施するための施設及び機械設備の維持管理費用を支出し、事業を円滑に実施することができた。</p> <p>○学舎生の増加に伴い、学舎用地を計画的に確保していく必要がある。</p> <p>○市外から入舎している学舎生が、学舎修了後に定住できる住宅の確保を支援していく必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	03農地流動化対策事業	
細事業名	05 京力農場プラン作成等事業			決算書	P.230
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
1,579千円		1,588千円		9千円	99.4 %
					3,222千円
目的	地域での徹底的な話し合いを通じて、地域農業の在り方について議論を進めることで、中核的な担い手への農地集積を促し、地域農業の競争力・体質強化を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京力農場プランの作成を推進していく必要があることから、農業経営者会議、農業委員会、京都府、JA京都などの関係機関で組織する「京力農場プラン検討会」を設置し、集落や地域単位で作成された「京力農場プラン（案）」について検討及び審査を行った。また、京力農場プランの作成の推進を図るため、嘱託職員を1人任用した。</p> <p>○京力農場プラン検討会活動経費 1,579千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘱託職員賃金 1,503千円 ・京力農場プラン検討委員謝金 32千円 ・普通旅費 10千円 ・消耗品費 34千円 <p>「京力農場プラン検討会」の実施 委員数：8人、検討会：3回開催（H26.10.1、H26.12.2、H27.3.24） ※京力農場プラン作成実績（新規：21地区、更新：3地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・峰山町（新規）国営小西1団地、丹波地区、内記地区、国営五箇団地（更新）国営二箇団地 ・大宮町（新規）善王寺地区、下常吉地区 ・網野町（新規）国営郷1団地、俵野地区、国営三津団地、下和田地区（更新）小浜地区 ・丹後町（新規）国営上野団地、国営高山団地、上宇川地区、牧ノ谷地区 ・弥栄町（新規）国営堤団地、芋野地区、国営和田野団地 ・久美浜町（新規）平田地区、国営永留1団地、竹藤地区、丸山地区（更新）金谷地区 				
主な財源	府補	京力農場プラン作成事業費補助金（10/10）			1,578千円
評価・課題等	<p>○担い手の確保・育成や農地集積計画などを総合的にまとめた「京力農場プラン」を、更新も含め24地区作成したことにより、該当地域における5年後に目指すべき姿を明確にすることができた。</p> <p>○市内の全集落でプラン策定に向けた取組を進めていく必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	03農地・水保全管理支払交付金事業	
細事業名	01 農地・水保全管理支払交付金事業			決算書	P.238
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
68,567千円		68,901千円		334千円	99.5 %
					56,290千円
目的	農地・農業用水等資源の保全管理活動、施設の長寿命化のための活動や高度な農地・水の保全活動等への支援により、地域主体の保全管理等の取組の強化・拡大を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>農地維持支払交付金及び資源向上支払交付金（共同）109組織、資源向上支払交付金（長寿命化）110組織により事業実施された。また、実績報告作成等の支援と実績報告書及び現地確認を行った。</p> <p>○農地・水保全管理支払交付金事業活動推進費 5,001千円</p> <p>事業の推進及び実施状況確認事務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員手当等（時間外勤務手当、休日勤務手当） 1,626千円 ・共済費（臨時職員社会保険料・雇用保険料） 133千円 ・賃金（臨時職員1人 賃金 10か月分） 1,072千円 ・旅費（普通旅費） 92千円 ・需用費（消耗品費・リース車燃料代） 1,580千円 ・役務費（リース車保険） 175千円 ・使用料及び賃借料 323千円 <p>○負担金、補助及び交付金</p> <p>平成26年度農地・水保全管理支払交付金事業市負担金 63,566千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地維持支払及び資源向上支払（共同）109組織（H25 106組織） 33,691千円 ・資源向上支払（長寿命化）110組織（H25 108組織） 29,875千円 				
主な財源	府補	農地・水・農村環境保全共同活動等推進事務交付金			5,000千円
	諸収入	農地・水・保全管理支払交付金市負担金返還金			626千円
評価・課題等	<p>○支援により施設整備、環境保全の強化等の活動が図られた。</p> <p>○申請や実績報告に係る事務負担が多いため、高齢化が進み人材不足の地域には、特に事務研修の開催や個別相談の実施など、支援を強化する必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	50農地一般経費	
細事業名	01 農地一般経費			決算書	P.238
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
5,668千円		5,762千円		94千円	98.3%
					(参考)当初予算額 3,901千円
目的	農業農村整備事業を円滑に推進するための施設管理・研修・支援及び京都府土地改良事業団体連合会への負担金等の一般経費				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>農業農村整備事業を円滑に進めるため、関係団体へ負担金・補助金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共済費（臨時職員保険料） 260千円 ・ 賃金（臨時職員1人 賃金 9か月分） 1,810千円 ・ 旅費（会議・職員研修等） 96千円 ・ 需用費（参考図書・コピー代・燃料費等） 612千円 ・ 役務費（自動車損害保険料） 65千円 ・ 使用料及び賃借料（図面コピー機借上料等） 887千円 ・ 全国土地改良事業団体連合会丹後支部 34千円 ・ 農道台帳管理負担金 53千円 ・ 京都府土地改良事業団体連合会賦課金 1,125千円 ・ 村前川防潮樋門電気代負担金 55千円 ・ 川崎川防潮樋門電気代負担金 73千円 ・ 久住営農飲雑用水施設整備事業借入償還補助金 592千円 <ul style="list-style-type: none"> 平成9年度借入分 4,213千円 償還額 334千円（平成34年度完了） 平成10年度借入分 3,248千円 償還額 258千円（平成35年度完了） ・ 重量税（公用車重量税） 6千円 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○施設管理・支援事業を行うことで、農業農村整備事業を円滑に推進することができた。</p> <p>○地元区や農家の借入金に対して補助金を交付することで、負担軽減を図ることができた。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	09農産物流通対策事業																					
細事業名	01 農産物流通対策事業			決算書	P.232																				
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																					
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)																				
689千円		692千円		3千円	99.5%																				
					(参考)当初予算額 865千円																				
目的	京丹後の顔が見える流通を進めるため、地産地消、地産都消、輸出等の新たな取組に対して支援し、販路拡大と農業者等の所得向上を図る。																								
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京丹後市農産物流通戦略推進会議を開催し、京丹後産農産物のブランド化の検討やPR方法などについて検討を行った。また、新たな流通を生み出す取組に対して補助金を交付し、市内農産物の販路拡大を図った。</p> <p>○農作物流通戦略推進会議活動経費 89千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会講師謝金 9千円 ・ 費用弁償 65千円 ・ 旅費 15千円 <p><活動実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農産物流通戦略推進会議開催 5回 ・ 農産物の流通に関する講演会 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：平成27年3月17日 会場：大宮庁舎 内容：農産物の市場外流通について 参加者：20人 <p>○農産物流通対策事業補助金 600千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京都農業協同組合</td> <td>九条ねぎの販路拡大（包材、印判など）</td> <td>292千円</td> <td>194千円</td> <td>久美浜町</td> </tr> <tr> <td>流通組合</td> <td>梨の販路拡大（カタログ掲載費用など）</td> <td>523千円</td> <td>300千円</td> <td>久美浜町</td> </tr> <tr> <td>個人事業者</td> <td>市内農産物の販路拡大（PR経費、出展経費など）</td> <td>174千円</td> <td>106千円</td> <td>峰山町</td> </tr> </tbody> </table>					事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額	備考	京都農業協同組合	九条ねぎの販路拡大（包材、印判など）	292千円	194千円	久美浜町	流通組合	梨の販路拡大（カタログ掲載費用など）	523千円	300千円	久美浜町	個人事業者	市内農産物の販路拡大（PR経費、出展経費など）	174千円	106千円	峰山町
事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額	備考																					
京都農業協同組合	九条ねぎの販路拡大（包材、印判など）	292千円	194千円	久美浜町																					
流通組合	梨の販路拡大（カタログ掲載費用など）	523千円	300千円	久美浜町																					
個人事業者	市内農産物の販路拡大（PR経費、出展経費など）	174千円	106千円	峰山町																					
主な財源																									
評価・課題等	<p>○新たな流通を生み出すことに対する経費の支援を行うことにより、農家の積極的な挑戦を後押しすることができた。また、新たな販路が開拓され、農家の経営と所得の向上を図り、京丹後市のPRにもつながった。</p> <p>○関係機関等で取組グループの情報共有を進めるとともに、更なる流通の拡大を図るため、引き続き補助事業の活用についてPRする必要がある。</p>																								
事業所管課	農林水産環境部／農政課																								

予算科目	06農林水産業費	01農業費	02農業総務費	03農村6次産業推進事業	
細事業名	01 農村6次産業推進事業			決算書	P.224
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑥ 京丹後ブランドの販売戦略	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
1,324千円		1,588千円		264千円	83.3%
					(参考)当初予算額 1,763千円
目的	本市の基幹産業である農林水産業の6次産業化を積極的に推進し、農家等の所得向上や経営の安定を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>政策企画委員（京都吉兆代表取締役社長徳岡氏）を委嘱して、京都そばとしての産地確立を図るため、そばに関する講演会の開催や市内産そばの成分分析を行った。また、丹後の豊富な食資源を地域外に発信するため、松本重太郎翁シンポジウムにおいて食と地酒のマッチングによるPRを行った。さらに、都市部パイヤーと生産者による商談会への参加による販路の拡大や、6次産業に意欲のある農家等に補助金を交付し、新商品の研究・開発支援を行った。</p> <p>○そば振興の取組み 310千円</p> <p>「そばを活用した地域振興」講演会 日時：平成27年3月9日（月） 場所：大宮庁舎 参加者：そば栽培農家等約20人</p> <ul style="list-style-type: none"> 政策企画委員報酬（1人） 66千円 講演会講師謝金 76千円 そば成分分析手数料 130千円 その他の経費（旅費、消耗品費） 38千円 <p>○京丹後の食・酒の魅力発信の取組み 268千円</p> <p>松本重太郎翁シンポジウム 日時：平成27年1月26日（月）、場所：ホテルグランヴィア大阪 参加者：（市内酒蔵）6蔵 12本</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント企画運営委託料 130千円 その他経費（消耗品費） 138千円 <p>○6次産業化フォーラム、商談会等の参加旅費等 21千円</p> <p>農林水産物等商談会（4回） 場所：京都府内、参加者：延べ38事業者</p> <p>○6次産業化支援事業補助金（交付件数：3件） 725千円</p> <p>補助対象加工品：米粉パン、ドライフルーツ、桑の加工品</p>				
主な財源					
評価・課題等	<p>○ホテルグランヴィア大阪にて開催した松本重太郎翁シンポジウムにおいて食と地酒のマッチングを行ったことにより、丹後の豊富な食資源を都市部へ魅力発信することができた。また、農家に対して商談会への参加を促すことにより、販路拡大等につながった。</p> <p>○6次産業支援事業により完成した加工品を継続・安定的に販売することにより、農家の所得を向上させる必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	07商工費	01商工費	04観光振興費	08あじわいの郷支援事業															
細事業名	01 あじわいの郷支援事業			決算書	P.268														
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	⑤ 観光の振興															
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)														
28,908千円		28,911千円		3千円	99.9%														
					(参考)当初予算額 28,911千円														
目的	丹後あじわいの郷の運営及び各種イベントの開催を支援し、丹後あじわいの郷の利用促進を図る。																		
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○あじわいの郷運営費負担金 28,640千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財団運営人件費等負担分</td> <td>4,600千円</td> </tr> <tr> <td>施設維持管理費負担分</td> <td>2,800千円</td> </tr> <tr> <td>あじわいの郷運営費負担分</td> <td>21,240千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○火災保険料（展望台・昆虫館・売店） 13千円</p> <p>○土地借上料（臨時駐車場等：弥栄町鳥取地内） 255千円</p> <p>（丹後あじわいの郷利用状況）</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>109,121人</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>109,242人</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>105,107人</td> </tr> </tbody> </table> <p>（平成26年4～11月の利用状況）※</p> <p>※ 平成26年12月から27年3月までは改装のため休業</p>					内訳	金額	財団運営人件費等負担分	4,600千円	施設維持管理費負担分	2,800千円	あじわいの郷運営費負担分	21,240千円	平成24年度	109,121人	平成25年度	109,242人	平成26年度	105,107人
内訳	金額																		
財団運営人件費等負担分	4,600千円																		
施設維持管理費負担分	2,800千円																		
あじわいの郷運営費負担分	21,240千円																		
平成24年度	109,121人																		
平成25年度	109,242人																		
平成26年度	105,107人																		
主な財源																			
評価・課題等	<p>○平成27年度からの『丹後王国「食のみやこ」』へのリニューアルに向け、4か月間休業していたが、4月から11月までの入園者数は、平成25年度における同じ期間中の実績を上回ることができた。</p> <p>○農商工観連携の重要な拠点施設であるため、他の施設との連携を図りながら運営され、より一層の利用促進が図られるよう支援する。</p>																		
事業所管課	農林水産環境部／農政課																		

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	037 ランド 農産物育成支援事業	
細事業名	02 生産・流通改善条件整備事業			決算書 P.226	
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
5,261千円		5,261千円		0千円	100.0 %
					124千円
目的	農業法人が主に国営農地で生産した農作物の集出荷貯蔵施設・設備整備等に対して支援することにより、産地の形成を図る。				
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	丹後地域統一重点推進品目に位置付けられている梨・みず菜・ごぼうの生産振興を図るため、内部品質センサー、遮光ネット、低温貯蔵庫の導入を支援した。				
	○生産・流通改善条件整備補助金 5,261千円				
	(単位：千円)				
	事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額	備考
京都農業協同組合	梨 内部品質センサー 1台	9,720	4,860	久美浜町	
丹後町施設園芸生産組合	みず菜 遮光ネット 6枚	323	161	丹後町	
JA京都京野菜部会(ごぼ丹部会)	ごぼう 低温貯蔵庫 1台	480	240	弥栄町	
主な財源	府補 ほんまもん京ランド 産地支援事業費補助金(45%)				4,735千円
評価・課題等	○丹後地域統一重点推進品目(梨・みず菜・ごぼう)の品質向上・生産安定・出荷安定を図るため、機械・資材・設備の導入を支援し、ブランド力の向上や所得確保の一助となった。 ○丹後地域統一重点推進品目の推進については、引き続きJA等の協力を得ながら指導、対応を行い、品質、面積の確保と組織化を進めていく必要がある。				
事業所管課	農林水産環境部/農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	14加工野菜等振興事業																					
細事業名	01 加工野菜等振興事業			決算書 P.228																					
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																					
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額																				
290千円		290千円		0千円	100.0 %																				
					580千円																				
目的	国営農地での加工契約野菜栽培を太陽熱土壌消毒用マルチ資材を導入した作付にすることで、減農薬による安心・安全な作物づくりの実証栽培を図る。																								
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	加工契約野菜栽培の農薬や除草作業のコスト削減を推進するため、太陽熱土壌消毒用マルチ資材の購入経費の支援を行った。(平成26年度から2か年の実証栽培事業)																								
	○加工野菜等振興事業費補助金 290千円																								
	太陽熱土壌消毒用マルチ資材の購入経費の一部を助成した。																								
	<ul style="list-style-type: none"> 補助率：1/2 限度額：1ha分のマルチ資材(7,000m以下) 補助実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>国営団地</th> <th>マルチ実績(m)</th> <th>補助金(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国営和田野団地</td> <td>7,000</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>国営黒部団地</td> <td>11,400</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>国営鳥取2・3団地</td> <td>6,000</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>国営奈良岡団地</td> <td>7,000</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>国営島津3団地</td> <td>6,000</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37,400</td> <td>290</td> </tr> </tbody> </table>					国営団地	マルチ実績(m)	補助金(千円)	国営和田野団地	7,000	43	国営黒部団地	11,400	99	国営鳥取2・3団地	6,000	54	国営奈良岡団地	7,000	46	国営島津3団地	6,000	48	合計	37,400
国営団地	マルチ実績(m)	補助金(千円)																							
国営和田野団地	7,000	43																							
国営黒部団地	11,400	99																							
国営鳥取2・3団地	6,000	54																							
国営奈良岡団地	7,000	46																							
国営島津3団地	6,000	48																							
合計	37,400	290																							
主な財源																									
評価・課題等	○国営農地で加工契約野菜を栽培する農家の負担軽減を支援することにより、減農薬による安心安全な作物の生産と安定した加工契約野菜栽培技術を推進することができた。 ○実証事業の1年目が終了したが、太陽熱土壌消毒技術が普及するよう京都府農業改良普及センター、JA京都加工契約野菜部会と連携した太陽熱土壌消毒技術の普及推進に努めていく必要がある。																								
事業所管課	農林水産環境部/農政課																								

予算科目	06農林水産業費	01農業費	04農政推進費	10集落営農発展型産地づくり事業																						
細事業名	01 集落営農発展型産地づくり事業			決算書 P.232																						
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																						
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額																					
16,831千円		16,831千円		0千円	100.0 %																					
					5,880千円																					
目的	「京力農場プラン」に基づき集落営農組織等が取り組む農地集積・経営基盤強化に係る体制整備に対して支援を行い、地域農業の維持、発展を図る。																									
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域で策定された「京力農場プラン」に基づき、地域農業再生の核となる法人等の加工・流通販売の多角化や特別栽培米の生産拡大に係る支援を行った。</p> <p>○集落営農発展型産地づくり事業費補助金 16,831千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>内 容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">誠農海部(株)</td> <td>トラクター等</td> <td>7,992千円</td> <td>4,395千円</td> </tr> <tr> <td>地下水位制御システム</td> <td>3,117千円</td> <td>1,438千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">井辺機械利用組合</td> <td>作業場建設、コンバイン</td> <td>12,101千円</td> <td>6,655千円</td> </tr> <tr> <td>乾燥機、籾摺機、光選別機等</td> <td>9,100千円</td> <td>4,343千円</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>32,310千円</td> <td>16,831千円</td> </tr> </tbody> </table>				事業実施主体	内 容	事業費	補助金額	誠農海部(株)	トラクター等	7,992千円	4,395千円	地下水位制御システム	3,117千円	1,438千円	井辺機械利用組合	作業場建設、コンバイン	12,101千円	6,655千円	乾燥機、籾摺機、光選別機等	9,100千円	4,343千円	合 計		32,310千円	16,831千円
事業実施主体	内 容	事業費	補助金額																							
誠農海部(株)	トラクター等	7,992千円	4,395千円																							
	地下水位制御システム	3,117千円	1,438千円																							
井辺機械利用組合	作業場建設、コンバイン	12,101千円	6,655千円																							
	乾燥機、籾摺機、光選別機等	9,100千円	4,343千円																							
合 計		32,310千円	16,831千円																							
主な財源	府補	集落営農発展型産地づくり事業補助金(1/2以内)		15,303千円																						
評価・課題等	<p>○担い手が不足する地域をけん引する集落営農組織等への支援により、営農継続につながる体制強化が図れた。</p> <p>○補助要件である「京力農場プラン」の策定段階から法人化等に向けた検討を府等の指導も得ながら進める必要がある。</p>																									
事業所管課	農林水産環境部/農政課																									

予算科目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	01水田農業振興推進事業	
細事業名	02 京丹後米ブランド化推進事業			決算書 P.232	
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
4,465千円		4,466千円		1千円	99.9 %
					6,250千円
目的	特別栽培米の団地化促進及び日本一の特A米産地づくりの定着推進を図り、売れる京丹後米のブランド化を進める。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>売れる京丹後米のブランド化を進めるため、特別栽培米の団地化の取組を支援した。</p> <p>○特別栽培米団地化促進補助金 4,465千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ha以上の団地化に対する基本助成 2千円/10a 2,071,280㎡×2,000円/10a=4,143千円 ・前年度比規模拡大に対する加算助成 1千円/10a 322,531㎡×1,000円/10a=322千円 				
主な財源	府補	未来づくり交付金(京丹後米ブランド化推進事業)		2,050千円	
評価・課題等	<p>○特別栽培米に対する団地化助成により、同一の作付方法での集団化が行われ、特別栽培米の質の向上及び規模拡大につながった。</p> <p>○日本一の特A米の産地づくりを推進するため、京都府と連携して水稻生育診断の普及を図る必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部/農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	02京の水田農業総合対策事業		
細事業名	01 京の米産地づくり事業			決算書 P.232		
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
2,745千円		2,822千円		77千円	97.2%	2,822千円
目的	特別栽培米等の生産に必要な農業用機械等を導入する農業者で組織する団体、農業生産法人等を支援し、安心・安全で売れる米づくりを進める。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○京の米産地づくり事業補助金 2,745千円					
	事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額	備考	
	延利農産グループ	乗用コンバイン 1台	6,100千円	2,745千円	大宮町延利地内	
主な財源	府補 京の米産地づくり事業費補助金 (4/10)					2,440千円
評価・課題等	○機械の整備により、刈取り作業及び出荷作業の効率化が図られ、早期出荷による有利な販売につなげることができた。 ○特別栽培米の拡大には農地の団地化と営農者の組織化が重要なため、今後、集落単位での取組を広げていく必要がある。					
事業所管課	農林水産環境部/農政課					

予算科目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	02京の水田農業総合対策事業		
細事業名	02 京の黒大豆・小豆等産地づくり事業			決算書 P.232		
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額
207千円		239千円		32千円	86.6%	239千円
目的	黒大豆・小豆等の生産に必要な農業用機械等を導入する農業者で組織する団体、農業生産法人等を支援し、低コスト化、効率化を図り黒大豆・小豆等産地づくりを進める。					
主要な事務・事業及び成果の概要	○京の黒大豆・小豆等産地づくり事業補助金 207千円					
	事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額	備考	
	谷ヶ奥黒豆部会	溝堀機 1台	460千円	207千円	大宮町周枳地内	
主な財源	府補 京の黒大豆・小豆等産地づくり事業費補助金 (4/10)					184千円
評価・課題等	○溝堀機の導入により、ほ場の排水不良の改善や作業時間の短縮、労力の軽減により、経営規模の拡大や所得の向上につなげることができた。 ○黒大豆産地の拡大には農地の団地化と営農者の組織化が重要なため、今後、集落単位での取組を広げていく必要がある。					
事業所管課	農林水産環境部/農政課					

予算科目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	02京の水田農業総合対策事業											
細事業名	03 中山間地域特産物生産応援事業			決算書 P.232											
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興											
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額									
1,650千円		1,650千円		0千円	100.0%	0千円									
目的	実需者との連携に基づき、地域営農組織等が要望のある農産物の生産活動を行い、農業収入の維持・確保を図る。														
主要な事務・事業及び成果の概要	地域営農組織等が食品事業者等の実需者（取引先）からの要望のある品目の栽培を行うため、必要な機器等を購入する経費を支援した。														
	○需要対応型特産物生産支援事業補助金 1,650千円														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>事業内容</th> <th>総事業費</th> <th>補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>のうゆう会</td> <td>生姜温蔵庫 1台</td> <td>3,154千円</td> <td>1,650千円</td> <td>久美浜町</td> </tr> </tbody> </table>						事業実施主体	事業内容	総事業費	補助金額	備考	のうゆう会	生姜温蔵庫 1台	3,154千円	1,650千円
事業実施主体	事業内容	総事業費	補助金額	備考											
のうゆう会	生姜温蔵庫 1台	3,154千円	1,650千円	久美浜町											
主な財源	府補 需要対応型特産物生産支援事業補助金（1/2、補助上限1,500千円）					1,500千円									
評価・課題等	○生姜の貯蔵が図れたことから、実需者の要望に合った出荷が可能となり、需要者との連携、継続性が確保された。 ○生産者が計画的、安定的に生産ができる実需者を見つけ出せるように、商談会等の情報提供を行う必要がある。														
事業所管課	農林水産環境部／農政課														

予算科目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	02京の水田農業総合対策事業												
細事業名	04 酒米生産加速化事業			決算書 P.232												
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興												
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額										
1,800千円		1,800千円		0千円	100.0%	0千円										
目的	需要の高まる酒米の生産に必要な農業用機械等を導入する農業者で組織する団体、農業生産法人等を支援し、売れる米づくりを進め農業所得の向上を図る。															
主要な事務・事業及び成果の概要	○酒米生産加速化事業補助金 1,800千円															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>五箇酒米生産組合</td> <td>乗用田植機 1台</td> <td>4,000千円</td> <td>1,800千円</td> <td>峰山町 五箇地内</td> </tr> </tbody> </table>						事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額	備考	五箇酒米生産組合	乗用田植機 1台	4,000千円	1,800千円	峰山町 五箇地内
	事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額	備考											
五箇酒米生産組合	乗用田植機 1台	4,000千円	1,800千円	峰山町 五箇地内												
主な財源	府補 京の酒米産地づくり加速化事業費補助金（4/10）					1,600千円										
評価・課題等	○酒米用機械の整備により、田植作業の効率化が図られ、経営面積の拡大につなげることができた。 ○酒米の拡大には農地の団地化と営農者の組織化が重要なため、今後、集落単位での取組を広げていく必要がある。															
事業所管課	農林水産環境部／農政課															

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	05里の基盤整備事業	
細事業名	03 里の地域活力再生事業			決算書	P.238
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
6,720千円		6,720千円		0千円	100.0%
					(参考)当初予算額 6,720千円
目的	「里力再生計画」を策定した地域において、地域が自らが運営する生活交通事業や移住促進事業など、多様な地域課題を解決する事業の実践展開を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>弥栄町野間地域が策定した「里力再生計画」に基づき、野間地域が主体となって加工品づくりを行う施設整備の経費を支援した。</p> <p>【弥栄町野間地域】</p> <p>里の地域活力再生事業補助金 6,720千円</p> <p>農産物加工施設改修工事（古民家改修）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総事業費 : 7,202千円 ・建屋改修工事 : 木工事、左官工事、内装材工事、金属製建具工事、コンクリート工事、電気設備工事、給排水衛生設備工事等 ・厨房備品 : 冷蔵庫、冷凍庫、電子レンジ、真空包装機、餅つき機等 				
主な財源	府補 里の基盤整備事業費補助金（2/3以内）				4,800千円
評価・課題等	<p>○過疎・高齢化・後継者不足など課題を抱える地域において、住民主体でつくる「地域連携組織」が策定した「里力再生計画」に基づき地域活性化を推進するための拠点施設の改修整備を行い、地域資源を活かした特産品づくり及び雇用の基盤づくりができた。</p> <p>○「里力再生計画」は地域の10年先を見越した計画であるが、補助事業終了後においても地域活性化活動の継続が図れるよう助言等、継続した支援が必要である。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	02茶生産特別支援事業									
細事業名	02 優良茶園振興事業			決算書	P.226								
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興									
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)								
1,117千円		1,120千円		3千円	99.7%								
					(参考)当初予算額 1,120千円								
目的	新たな栽培管理技術の確立により、宇治茶産地として安定した収量及び品質の確保を図る。												
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>宇治茶産地として安定した収量及び品質の確保を図るため、新たな施肥技術等の確立に向けた実証試験に係る資材代の一部を支援した。</p> <p>○宇治茶産地確立支援事業補助金 1,117千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京丹後市茶生産組合</td> <td>新たな施肥技術等の確立に向けた実証試験 (実証圃場：約550a)</td> <td>2,234千円</td> <td>1,117千円</td> </tr> </tbody> </table>					事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額	京丹後市茶生産組合	新たな施肥技術等の確立に向けた実証試験 (実証圃場：約550a)	2,234千円	1,117千円
事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額										
京丹後市茶生産組合	新たな施肥技術等の確立に向けた実証試験 (実証圃場：約550a)	2,234千円	1,117千円										
主な財源													
評価・課題等	<p>○平成27年の一番茶の状況から、ほ場によっては収量及び品質に一定の効果が現れている。</p> <p>○単年の取組では効果が現れないため、複数年に渡り継続的に取り組む必要がある。</p>												
事業所管課	農林水産環境部／農政課												

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	037 ラト 農産物育成支援事業																
細事業名	01 パイプハウス整備事業			決算書 P.226																
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額															
14,656千円		14,656千円		0千円	100.0 % 4,712千円															
目的	パイプハウス等施設の整備を支援し、農産物のブランド化・生産性の向上等、京野菜の産地づくりを図る。																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>丹後地域統一重点推進品目に位置付けられている九条ねぎの生産振興を図るため、パイプハウスの整備を支援し、産地の形成に取り組んだ。</p> <p>○パイプハウス等整備事業費補助金 14,656千円 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京都農業協同組合</td> <td>パイプハウス整備 11棟</td> <td>15,474</td> <td>8,509</td> <td>峰山町 弥栄町 久美浜町</td> </tr> <tr> <td>久美浜町 九条ねぎ部会</td> <td>パイプハウス整備 6棟</td> <td>11,179</td> <td>6,147</td> <td>久美浜町</td> </tr> </tbody> </table>					事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額	備考	京都農業協同組合	パイプハウス整備 11棟	15,474	8,509	峰山町 弥栄町 久美浜町	久美浜町 九条ねぎ部会	パイプハウス整備 6棟	11,179	6,147	久美浜町
事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額	備考																
京都農業協同組合	パイプハウス整備 11棟	15,474	8,509	峰山町 弥栄町 久美浜町																
久美浜町 九条ねぎ部会	パイプハウス整備 6棟	11,179	6,147	久美浜町																
主な財源	府補	ほんまもん京ラト 産地支援事業費補助金 (1/2)			13,325千円															
評価・課題等	<p>○丹後地域統一重点推進品目（九条ねぎ）の推進と市内農業団体の負担軽減を図り、経営と所得の安定に寄与した。</p> <p>○丹後地域統一重点推進品目の推進にあたっては、品質だけでなく量の確保・安定供給が必要であり、今後も引き続きJA等の協力を得ながら指導、対応を行う必要がある。</p>																			
事業所管課	農林水産環境部／農政課																			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	07畜産業費	01 畜産振興事業																	
細事業名	01 畜産振興事業			決算書 P.234																	
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額																
3,370千円		3,370千円		0千円	100.0 % 3,300千円																
目的	畜産施設の整備及び飼料用米振興に係る経費を支援することにより、畜産振興を図る。																				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>畜産振興を図るため、経営体育成支援事業を活用した牛舎の新築工事及び飼料用米の検査器具購入に係る経費を支援した。</p> <p>○経営体育成支援事業補助金 3,300千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>株式会社 いちがお畜産</td> <td>牛舎の新築</td> <td>12,852千円</td> <td>3,300千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○畜産振興推進指導事業補助金 70千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業実施主体</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京丹後森本アグリ株式会社</td> <td>飼料用米検査器具の購入</td> <td>285千円</td> <td>70千円</td> </tr> </tbody> </table>					事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額	株式会社 いちがお畜産	牛舎の新築	12,852千円	3,300千円	事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額	京丹後森本アグリ株式会社	飼料用米検査器具の購入	285千円	70千円
事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額																		
株式会社 いちがお畜産	牛舎の新築	12,852千円	3,300千円																		
事業実施主体	事業内容	事業費	補助金額																		
京丹後森本アグリ株式会社	飼料用米検査器具の購入	285千円	70千円																		
主な財源	府補	経営体育成支援事業補助金 (3/10) 補助上限：3,000千円			3,000千円																
	府補	畜産振興推進指導事業補助金 (5/10) 補助上限：70千円			70千円																
評価・課題等	<p>○新築牛舎の導入により育成牛の増頭が可能となり、経営の安定に繋げることができた。</p> <p>○飼料用米検査機器の導入により、市内の飼料用米検査体制を整備することができた。</p> <p>○畜産農家と耕種農家とのマッチングの推進や多収品種の導入を進めるなど、飼料用米生産と利用拡大の取組を推進していく必要がある。</p>																				
事業所管課	農林水産環境部／農政課																				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	05里の基盤整備事業	
細事業名	01 里の生活環境基盤整備事業			決算書	P.238
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
57,018千円		57,019千円		1千円	99.9%
					(参考)当初予算額 56,757千円
目的	過疎・高齢化が進む農村地域において複数集落による[地域連携組織]の設立・地域活動を支援し、住民主体による農村地域の活性化と地域住民の安心・安全の確保を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>複数の集落が連携・協力して策定した「里力再生計画」に基づき、生活環境基盤施設などの修繕・改修を行うとともに、地域の取組に補助金を交付した。</p> <p>【大宮町大宮南地域】 9,272千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 測量設計委託料（奥大野、谷内） 864千円 工事請負費 市道平太郎線ほか1線舗装、早竹塚本線ほか1線道路維持工事 3,121千円 補助金 上常吉公民館改修、下夕川水路修繕 5,287千円 <p>【久美浜町佐濃地域】 19,688千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 測量設計委託料（尉ヶ畑、郷） 789千円 工事請負費 市道奥山区内線舗装、尉ヶ畑線ほか1線道路維持工事、円頓寺消火栓設置 9,082千円 補助金 小桑・安養寺公民館改修、女布ごみ収集箱設置、二俣広場改修、竹藤屋外物置設置 等 9,817千円 <p>【久美浜町二区地域】 19,155千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 測量設計委託料（奥三谷） 907千円 工事請負費 市道甲坂不動線道路維持工事、栃谷口馬地線道路維持工事、口馬地防火水槽設置 13,124千円 補助金 栃谷公民館改修 5,124千円 <p>【久美浜町海部地域】 6,161千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 測量設計委託料（品田） 357千円 工事請負費 市道品田区内1号線舗装 1,489千円 補助金 油池公民館改修 4,315千円 <p>【大宮町三重・森本地域】 2,742千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助金 三重遊具設置、三重自転車置場設置 2,742千円 				
主な財源	府補	里の基盤整備事業費補助金（2/3以内）	45,264千円		
	市債	消防防災施設整備事業債（過疎対策債）	2,700千円		
評価・課題等	<p>○過疎・高齢化・後継者不足など課題を抱える地域において、住民主体でつくる「地域連携組織」が策定した「里力再生計画」に基づき生活環境基盤整備・格納庫等の改修を行い、大雨などによる災害時の安心・安全の基盤づくりができた。</p> <p>○「里力再生計画」は地域の10年先を見越した計画であるが、補助事業終了後においても地域活性化活動の継続が図れるよう助言等、継続した支援が必要である。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	01小規模基盤整備事業																									
細事業名	01 小規模土地改良事業補助金			決算書	P.236																								
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																									
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)																								
2,715千円		2,750千円		35千円	98.7%																								
					(参考)当初予算額 2,750千円																								
目的	農業用水路等の老朽化が進む中、地域の維持管理の効率的な取り組みを支援し、農地、農業用施設等の改良、維持、保全及び復旧を図る。																												
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>各地区及び農業団体が実施した小規模土地改良事業による施設の維持管理に対して、機械借上料、原材料費について補助金を交付した。</p> <p>・小規模土地改良事業補助金 2,715千円</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>箇所数</th> <th>補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町</td> <td>2</td> <td>598千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町</td> <td>2</td> <td>189千円</td> </tr> <tr> <td>網野町</td> <td>6</td> <td>1,055千円</td> </tr> <tr> <td>丹後町</td> <td>4</td> <td>518千円</td> </tr> <tr> <td>弥栄町</td> <td>0</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>2</td> <td>355千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>16</td> <td>2,715千円</td> </tr> </tbody> </table>					地域	箇所数	補助金	峰山町	2	598千円	大宮町	2	189千円	網野町	6	1,055千円	丹後町	4	518千円	弥栄町	0	0円	久美浜町	2	355千円	合計	16	2,715千円
地域	箇所数	補助金																											
峰山町	2	598千円																											
大宮町	2	189千円																											
網野町	6	1,055千円																											
丹後町	4	518千円																											
弥栄町	0	0円																											
久美浜町	2	355千円																											
合計	16	2,715千円																											
主な財源																													
評価・課題等	補助金を交付することにより、農地、農業用施設等の改良、維持、保全及び復旧が図られた。																												
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課																												

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	01小規模基盤整備事業																			
細事業名	02 小規模農業基盤整備事業			決算書 P.236																			
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																			
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																	
2,202千円		6,500千円		4,298千円	33.8%	6,500千円																	
目的	老朽化により機能が低下した土地改良施設の改修を行うことにより、農業生産性の向上と農業経営の安定を図る。																						
主要な事務・事業及び成果の概要	農業用水管の破損による市道陥没の復旧及び安定した用水の供給を図るため、老朽化により通水機能が低下した農業用水路の改修工事を行った。																						
	<table border="0"> <tr> <td>○工事請負費</td> <td colspan="5">2,202千円</td> </tr> <tr> <td>・丹後町久僧</td> <td>久僧中浜線暗渠修繕工事</td> <td colspan="4">182千円</td> </tr> <tr> <td>・丹後町上野</td> <td>上野用水路改修工事</td> <td colspan="4">2,020千円</td> </tr> </table>						○工事請負費	2,202千円					・丹後町久僧	久僧中浜線暗渠修繕工事	182千円				・丹後町上野	上野用水路改修工事	2,020千円		
○工事請負費	2,202千円																						
・丹後町久僧	久僧中浜線暗渠修繕工事	182千円																					
・丹後町上野	上野用水路改修工事	2,020千円																					
	<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>線越明許費を除いた最終予算額</td> <td>2,203千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.9%</td> </tr> </table> <p>■平成27年度への線越事業 小規模土地改良工事 4,297千円 ※平成27年7月完成</p>						参考	線越明許費を除いた最終予算額	2,203千円		実質的な予算執行率	99.9%											
参考	線越明許費を除いた最終予算額	2,203千円																					
	実質的な予算執行率	99.9%																					
主な財源	分担金	小規模基盤整備事業分担金	660千円																				
	諸収入	地域の元気づくり基金繰入金	1,000千円																				
評価・課題等	<p>○機能が低下した土地改良施設の改修により、農業経営の安定と施設の保全に資することができた。</p> <p>○土地改良施設の老朽化による改修要望が増えていることから、国府の補助事業を積極的に活用し、計画的な改修が必要である。</p>																						
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課																						

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	02国営開発農地維持管理事業																																																																			
細事業名	01 国営丹後土地改良事業負担金			決算書 P.236																																																																			
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																																																																			
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考) 当初予算額																																																																	
14,192千円		14,193千円		1千円	99.9%	14,193千円																																																																	
目的	国営土地改良事業に係る受益者の負担金を規定償還と繰上償還により国に支払う。また、国営開発農地内の市有農地に係る賦課金を土地改良区に支払う。																																																																						
主要な事務・事業及び成果の概要	国営土地改良事業負担金を、規定償還と繰上償還により行い、負担軽減を図った。また、国営開発事業で整備された施設の維持管理が図られた。																																																																						
	<table border="0"> <tr> <td>・国営丹後土地改良事業負担金</td> <td colspan="5">14,108千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>市負担金</td> <td>受益者負担金</td> <td colspan="3">計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>規定償還額</td> <td>0円</td> <td>11,093千円</td> <td colspan="2">11,093千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>繰上償還額</td> <td>0円</td> <td>3,015千円</td> <td colspan="2">3,015千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>0円</td> <td>14,108千円</td> <td colspan="2">14,108千円</td> </tr> </table> <table border="0"> <tr> <td>・丹後土地改良区賦課金</td> <td colspan="5">84千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>町名</td> <td>団地名</td> <td>面積</td> <td colspan="2">賦課金額</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大宮町</td> <td>三坂団地・大野団地</td> <td>97.3 a</td> <td colspan="2">19千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>網野町</td> <td>郷団地</td> <td>10.0 a</td> <td colspan="2">2千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>弥栄町</td> <td>芋野団地・木橋2団地</td> <td>313.1 a</td> <td colspan="2">63千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>計</td> <td>420.4 a</td> <td colspan="2">84千円</td> </tr> </table>						・国営丹後土地改良事業負担金	14,108千円						市負担金	受益者負担金	計				規定償還額	0円	11,093千円	11,093千円			繰上償還額	0円	3,015千円	3,015千円			計	0円	14,108千円	14,108千円		・丹後土地改良区賦課金	84千円						町名	団地名	面積	賦課金額			大宮町	三坂団地・大野団地	97.3 a	19千円			網野町	郷団地	10.0 a	2千円			弥栄町	芋野団地・木橋2団地	313.1 a	63千円				計	420.4 a	84千円
・国営丹後土地改良事業負担金	14,108千円																																																																						
	市負担金	受益者負担金	計																																																																				
	規定償還額	0円	11,093千円	11,093千円																																																																			
	繰上償還額	0円	3,015千円	3,015千円																																																																			
	計	0円	14,108千円	14,108千円																																																																			
・丹後土地改良区賦課金	84千円																																																																						
	町名	団地名	面積	賦課金額																																																																			
	大宮町	三坂団地・大野団地	97.3 a	19千円																																																																			
	網野町	郷団地	10.0 a	2千円																																																																			
	弥栄町	芋野団地・木橋2団地	313.1 a	63千円																																																																			
		計	420.4 a	84千円																																																																			
主な財源	負担金	国営農地開発事業負担金	4,272千円																																																																				
	負担金	国営農地開発事業負担金滞納繰越分	2,587千円																																																																				
評価・課題等	滞納繰越金について、滞納者から債務承認及び納付誓約書の取得等により、滞納解消を図っていく必要がある。																																																																						
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課																																																																						

予算科目	06農林水産業費	01農業費	10農地費	05里の基盤整備事業	
細事業名	02 里の農業生産基盤整備事業			決算書	P.238
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
10,125千円		10,131千円		6千円	99.9 % 18,096千円
目的	後継者不足や農地の荒廃など厳しい状況にある農村地域において、複数集落が連携・協力して生活環境や農業生産基盤を維持して農村地域の再生を図る活動を支援する。				
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	<p>劣化等により機能が低下している農道や農業用水路の補修など、直接地域が行う事業への支援、水路の改修や農道の舗装により、機能が低下した農地や土地改良施設の改修及び改良を行った。</p> <p>○工事請負費 9,753千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮南地域 新田線農道舗装工事 2,517千円 ・三重森本地域 よしそ小ユフネ線農道舗装工事 4,968千円 ・佐濃地域 佐野丙排水路改修工事 1,458千円 ・佐濃地域 佐野丙用水路水門設置工事 810千円 <p>○原材料費 107千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮南地域 大川原農道補修材料 65千円 ・三重森本地域 なる農道補修材料 26千円 ・佐濃地域 中ノ坪農道補修材料 16千円 <p>○需用費（事務用品、燃料費） 265千円</p>				
主な 財源	分担金	里の基盤整備事業分担金		1,246千円	
	府補	里の基盤整備事業費補助金（2/3）		6,750千円	
評価・ 課題等	<p>○地域と協力して計画・実施することで、維持管理労力の低減と作業効率の改善が進み、地域の農業生産基盤の維持保全が図られた。</p> <p>○今後も地域と協力しながら地域の農業生産基盤の維持保全を進めていく必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	01 経営体育成基盤整備事業	
細事業名	01 経営体育成基盤整備事業			決算書	P.240
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
3,150千円		5,128千円		1,978千円	61.4 % 2,328千円
目的	大宮町森本地区において大区画のほ場整備を推進し、地域農業の再編と農地の集団化、担い手育成等を総合的に実施し、農地の効率的な利用と担い手の経営安定を図る。				
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	<p>京都府により補完工事等が実施された。また、換地処分に向けて、計画変更が行われた。</p> <p>○府営経営体育成基盤整備事業負担金 3,150千円</p> <p>事業費 18,000 千円</p> <p>市負担金 18,000千円 × 10% = 1,800千円</p> <p>地元負担金 18,000千円 × 7.5% = 1,350千円</p>				
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額		3,159千円	
		実質的な予算執行率		99.7%	
	<p>■平成27年度への繰越事業</p> <p>換地処理経費 1,969千円 ※平成27年12月完了予定</p>				
主な 財源	分担金	経営体育成基盤整備事業分担金		1,350千円	
	市債	経営体育成基盤整備負担金事業債（公共事業等債）		1,600千円	
評価・ 課題等	<p>○平成27年度の換地処分へ向けて準備を整えることができた。</p> <p>○換地処分登記の前提となる所有権移転登記を早期に行う必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	03ため池等整備事業		
細事業名	01 ため池等整備事業			決算書	P.240	
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
324千円		324千円		0千円		100.0% 21,195千円
目的	洪水時において引上げ作業が不可能な丹後町大山堰を固定堰から自動倒伏の可動堰へ更新することで、治水及び防災上の危険防止を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>河川管理者との許可申請に伴う指示で、用水路のルート変更が生じたため、京都府により実施設計の見直し及び用地測量が行われた。</p> <p>○ため池等整備事業負担金 事業費 2,160 千円 324千円 市負担金 2,160千円 × 12% = 259千円 地元負担金 2,160千円 × 3% = 65千円</p>					
主な財源	分担金	ため池等整備事業分担金				324千円
評価・課題等	○工事実施に向けた準備を進めることができた。 ○工事の早期実施に向け、用地買収を進めて行く必要がある。					
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課					

予算科目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	05農業競争力強化基盤整備事業		
細事業名	01 農業競争力強化基盤整備事業			決算書	P.240	
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
11,091千円		11,092千円		1千円		99.9% 10,325千円
目的	久美浜町女布地区において、ほ場の大区画化と揚水機、用水路等の改修を実施し、営農労力の節減を図り、収益性の高い農業経営の実現を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京都府により実施設計業務、地区境界の確定業務が行われた。また、京都府からの委託により従前地再調査等の換地処理事務を行った。</p> <p>○府営農業競争力強化基盤整備事業負担金 5,075千円 事業費 29,000 千円 市負担金 29,000千円 × 10% = 2,900千円 地元負担金 29,000千円 × 7.5% = 2,175千円</p> <p>○換地処理経費 6,016千円 換地委員賃金 1,369千円 換地業務委託料 4,647千円</p>					
主な財源	分担金	農業競争力強化基盤整備事業分担金				2,175千円
	府委	換地業務委託金				6,015千円
	市債	農業競争力強化基盤整備負担金事業債（公共事業等債）				2,600千円
評価・課題等	○ほ場整備の詳細設計が終わり、効率的な農業経営に向けて基盤整備実施の準備を整えることができた。 ○平成27年度の換地業務に向けての準備を整えることができた。					
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課					

予算科目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	02土地改良施設維持管理適正化事業	
細事業名	01 土地改良施設維持管理適正化事業			決算書	P.240
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
30,295千円		30,315千円		20千円	99.9%
					(参考)当初予算額 30,315千円
目的	造成した土地改良施設維持管理適正化事業資金を基に、計画的に施設を整備し、老朽化した土地改良施設の適正な維持管理と農業経営の安定に資する。				
主要な 事業及び 成果の 概要	土地改良施設の適正な維持管理により、施設の長期有効利用と持続的な農業経営の安定を図るため、施設の診断指導を実施した。また、土地改良施設維持管理適正化事業加入地区の事業実施に必要な資金を賦課金として、京都府土地改良事業団体連合会に拠出した。				
	加入地区の整備計画に基づき、施設の改修工事を実施し、延命化による長期有効利用を可能にした。				
	土地改良施設診断指導（8か所） 網野町 2か所、弥栄町 5か所、久美浜町 1か所				
	工事請負費	25,510千円		25,510千円	
	茂手谷池	9,504			
	岡谷池	6,005			
	俵野畑かん施設	10,001			
	土地改良施設維持管理適正化事業賦課金（7地区）		4,785千円		
	網野町	俵野畑かん施設 H22~26	工事H26	660千円	
	弥栄町	五ノ坪水路 H23~27	工事H25	924千円	
	久美浜町	竹ノ湯水機場 H23~27	工事H23	759千円	
	大宮町	茂手谷池 H24~28	工事H26	627千円	
	峰山町	岡谷池 H24~28	工事H26	396千円	
	網野町	浜詰灌水施設 H25~29	工事H28	660千円	
	網野町	俵野畑かん施設 H26~30	工事H28	759千円	
主な 財源	分担金	土地改良施設維持管理適正化事業分担金		2,320千円	
	諸収入	土地改良施設維持管理適正化事業費補助金		22,950千円	
評価 ・ 課題 等	○事業の実施により、老朽化した土地改良施設の延命化と維持管理の軽減が図られ、施設の適正な維持管理と農業経営の安定に資することができた。				
	○適正な維持管理を目的に5年以内に整備補修を行う事業であり、計画的な施設整備のため、今後も適正化事業への加入に向けた取り組みを検討していく必要がある。				
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	06団体営調査設計事業	
細事業名	01 団体営調査設計事業			決算書	P.242
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
20,012千円		20,030千円		18千円	99.9%
					(参考)当初予算額 20,030千円
目的	ほ場の大区画化と用水路等の改修により営農労力の節減を図り、収益の高い農業経営を目指し、農村地域の再生を図る。				
主要な 事業及び 成果の 概要	平成29年度のほ場整備事業採択に向け、調査設計業務を行った。				
	○委託料			20,012千円	
	上宇川地区ほ場整備調査設計業務			20,012千円	
主な 財源	府補	団体営調査設計事業補助金（1/2）		10,000千円	
評価 ・ 課題 等	○地域と協力しながら、計画作成に向けた取組を進めることができた。				
	○今後も、平成29年度の事業採択に向け地域と協力しながら進めていく必要がある。				
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	09宇川地区農業用施設改修事業		
細事業名	01 宇川地区農業用施設改修事業			決算書 P.242		
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
72,234千円		72,237千円		3千円	99.9%	77,956千円
目的	施設の老朽化により維持管理が困難な状況であるため、施設の更新事業として用水路及び取水施設の改修を行うことにより、農地の保全及び農業経営の安定を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成27年度より実施する改修工事に先立ち、現況測量、施設に関する調査及び設計業務を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○委託料 72,026千円 <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度尾和用水実施設計業務その1 41,883千円 ・平成27年度尾和用水実施設計業務その2 30,143千円 ○事務費 208千円 <ul style="list-style-type: none"> ・職員給与 89千円 ・職員等手当 8千円 ・共済費 25千円 ・旅費 24千円 ・需用費 2千円 ・使用料及び賃借料 60千円 					
主な財源	国補	防衛施設周辺対策事業補助金(10/10)			72,234千円	
評価・課題等	現地の測量及び調査結果を基に、改修する施設の実設計や河川占用協議資料の作成を行うことで、工事実施に向けた取組を進めることができた。					
事業所管課	農林水産環境部/農林整備課					

予算科目	11災害復旧費	01農林水産業施設災害復旧費	01農地・農業用施設災害復旧費	01現年発生農地・農業用施設災害復旧事業		
細事業名	01 現年発生農地・農業用施設災害復旧事業(繰越)			決算書 P.382		
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
69,620千円		87,544千円		17,924千円	79.5%	87,544千円
目的	災害復旧事業の実施及び補助金の交付を行い、災害により被災した農地・農業用施設の機能回復を図る。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>災害により被災を受けた農地・農業用施設について、従前の機能を回復させることにより、農業経営の安定と公益的機能の確保を図るため、農地・農業用施設を早急に復旧し、農業の再生産活動と農地等の多面的機能を確保した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 12千円 ○使用料及び賃借料 14千円 <ul style="list-style-type: none"> ・有料道路通行料 ○工事請負費 67,058千円 <ul style="list-style-type: none"> ・補助災害復旧工事 26か所 峰山町(1か所)、網野町(14か所)、丹後町(5か所) 弥栄町(4か所)、久美浜町(2か所) ○負担金、補助及び交付金 1,996千円 <ul style="list-style-type: none"> ・小規模災害復旧事業支援補助金 10か所 ○職員手当等(時間外勤務及び休日勤務手当) 540千円 					
主な財源	府補 分担金 市債	農地・農業用施設災害復旧費補助金(94.3%~98.3%) 農地・農業用施設災害復旧費分担金 農地・農業用施設災害復旧事業債			49,766千円 465千円 1,700千円	
評価・課題等	災害により被災した農地・農業用施設の機能回復を図ることができ、農家の経営安定につながった。					
事業所管課	農林水産環境部/農林整備課					

予算科目	11災害復旧費	01農林水産業施設災害復旧費	01農地・農業用施設災害復旧費	01現年発生農地・農業用施設災害復旧事業			
細事業名	01 現年発生農地・農業用施設災害復旧事業			決算書 P.382			
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興			
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額	
4,013千円		6,014千円		2,001千円	66.7%	0千円	
目的	災害復旧事業の実施及び補助金の交付を行い、災害により被災した農地・農業用施設の機能回復を図る。						
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>災害により被災を受けた農地・農業用施設について、従前の機能を回復させることにより、農業経営の安定と公益的機能の確保を図るため、農地・農業用施設を早急に復旧し、農業の再生産活動と農地等の多面的機能を確保した。</p> <p>○委託費</p> <ul style="list-style-type: none"> 測量設計業務 丹後町 1業務 291千円 <p>○負担金、補助及び交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> 小規模災害復旧事業支援補助金(29件) 3,722千円 						
	参考	繰越明許費を除いた最終予算額	4,014千円	実質的な予算執行率			99.9%
	<p>■平成27年度への繰越事業</p> <p>災害復旧工事費 2,000千円 ※平成27年4月完成</p>						
主な財源	府補 農業基盤整備促進事業補助金(60%) 22,881千円 分担金 農業基盤整備促進事業分担金(16%) 6,102千円 市債 農業基盤整備促進事業債(公共事業等債) 8,200千円						
評価・課題等	災害により被災した農地・農業用施設の機能回復を図ることができ、農家の経営安定につながった。						
事業所管課	農林水産環境部/農林整備課						

予算科目	06農林水産業費	01農業費	12団体営土地改良事業費	07農業基盤整備促進事業																	
細事業名	01 農業基盤整備促進事業(繰越)			決算書 P.242																	
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額															
38,142千円		38,235千円		93千円	99.7%	38,235千円															
目的	農業生産基盤の整備により、地域振興作物の生産の促進を図る。																				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>三重地区藤曾堰が、経年劣化によりゴム堰本体から漏水し、農繁期に安定した取水が困難な状況にあることから、早期に改修を実施した。また、農道を維持管理労力の低減のため、舗装を行った。</p> <p>○工事請負費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地域</th> <th>工事名</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大宮町森本地区</td> <td>藤曾堰改修工事その1</td> <td>30,240千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町森本地区</td> <td>藤曾堰改修工事その2</td> <td>4,784千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町三重地区</td> <td>農道おそわ線舗装新設工事</td> <td>1,589千円</td> </tr> <tr> <td>大宮町三重地区</td> <td>農道おそわ2号線舗装新設工事</td> <td>1,529千円</td> </tr> </tbody> </table>						地域	工事名	事業費	大宮町森本地区	藤曾堰改修工事その1	30,240千円	大宮町森本地区	藤曾堰改修工事その2	4,784千円	大宮町三重地区	農道おそわ線舗装新設工事	1,589千円	大宮町三重地区	農道おそわ2号線舗装新設工事	1,529千円
地域	工事名	事業費																			
大宮町森本地区	藤曾堰改修工事その1	30,240千円																			
大宮町森本地区	藤曾堰改修工事その2	4,784千円																			
大宮町三重地区	農道おそわ線舗装新設工事	1,589千円																			
大宮町三重地区	農道おそわ2号線舗装新設工事	1,529千円																			
主な財源	府補 農業基盤整備促進事業補助金(60%) 22,881千円 分担金 農業基盤整備促進事業分担金(16%) 6,102千円 市債 農業基盤整備促進事業債(公共事業等債) 8,200千円																				
評価・課題等	<p>○早期に藤曾堰の改修工事を実施したことで、農業経営の安定と施設保全に資することができた。</p> <p>○農家数も減少し維持管理費の負担割合が増加していることから、今後も財政面で有利な事業を有効に活用し、効率的な事業実施につとめていく必要がある。</p>																				
事業所管課	農林水産環境部/農林整備課																				

事業名称	再編交付金活用事業		
	個別事業名	決算額	
04	尾和地内農道等改修事業	4,136千円	
決算額の 内訳	13 委託料	測量委託料	1,285千円
	15 工事請負費	農道舗装・用水路工事	2,851千円
主要な 事務・ 事業 及び 成果 の 概要	<p>西野新田農道は、幅員が狭く、大型の農業機械の乗り入れに支障が出ていたが、農道を舗装することで、有効幅員を拡幅することができ、農作業時の安全性の向上が図れた。</p> <p>また、農道横の用水路についても、漏水により取水困難な状況となっていたが、漏水防止のための水路改修を実施することで、農地保全と農業での生産性の向上が図れた。</p>		
	○委託料		1,285千円
	・測量業務	1式	
	・数量計算書作成業務	1式	
○工事請負費			2,851千円
	・農道舗装工		
	コンクリート舗装 t=12cm	A=170.7m ²	
	・用水路工		
	角フリューム200	L=45.4m	
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課		

予算科目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	02農業委員会活動事業																																		
細事業名	01 農業委員会活動事業			決算書 P.220																																		
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																																		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)																																		
9,576千円		9,592千円		16千円																																		
				執行率 99.8%																																		
				(参考) 当初予算額 10,141千円																																		
目的	農地法等に基づき許認可の審査・諸証明を行うとともに、建議書を提出するなどの活動により農業生産力の発展と農業経営の合理化を図り、農民の地位の向上に寄与する。																																					
主要な 事務・ 事業 及び 成果 の 概要	<p>農地法に基づく許認可の審査を行うとともに、農政活動に取り組んだ。</p> <p>○農業委員数37人（選挙委員30人・選任委員7人 平成27年3月31日現在）</p> <p>○主な活動</p> <p>・総会、部会等</p>																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>総会・部会等</th> <th>開催回数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地部会</td> <td>12回</td> <td>毎月</td> </tr> <tr> <td>農政部会</td> <td>7回</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>運営委員会</td> <td>1回</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>広報委員会</td> <td>9回</td> <td>随時</td> </tr> <tr> <td>農地パトロール</td> <td>1回</td> <td>8月実施</td> </tr> <tr> <td>全員研修会</td> <td>1回</td> <td>視察研修</td> </tr> </tbody> </table>	総会・部会等	開催回数	備考	農地部会	12回	毎月	農政部会	7回	随時	運営委員会	1回	随時	広報委員会	9回	随時	農地パトロール	1回	8月実施	全員研修会	1回	視察研修	<p>※農地法等に基づく許認可申請等の状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>申請等の種類</th> <th>申請件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3条申請</td> <td>97件</td> </tr> <tr> <td>4条申請</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>5条申請</td> <td>42件</td> </tr> <tr> <td>事業計画変更</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>形状変更届</td> <td>29件</td> </tr> <tr> <td>非農地証明</td> <td>84件</td> </tr> <tr> <td>農地法の許可を要しない転用の届出</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(平成26年4月～平成27年3月)</p>	申請等の種類	申請件数	3条申請	97件	4条申請	2件	5条申請	42件	事業計画変更	5件	形状変更届	29件	非農地証明	84件	農地法の許可を要しない転用の届出
総会・部会等	開催回数	備考																																				
農地部会	12回	毎月																																				
農政部会	7回	随時																																				
運営委員会	1回	随時																																				
広報委員会	9回	随時																																				
農地パトロール	1回	8月実施																																				
全員研修会	1回	視察研修																																				
申請等の種類	申請件数																																					
3条申請	97件																																					
4条申請	2件																																					
5条申請	42件																																					
事業計画変更	5件																																					
形状変更届	29件																																					
非農地証明	84件																																					
農地法の許可を要しない転用の届出	2件																																					
	<p>・農業委員会だよりの発行</p> <p>・意見書等の提出 平成27年度京丹後市農業施策に関する建議書（10月）</p> <p>○主な経費</p> <p>・農業委員報酬（会長報酬：250千円/年・委員報酬：181千円/年） 6,676千円</p> <p>・「農業委員会だより」発行経費 年3回（8月・12月・2月 全戸配布） 545千円</p> <p>・視察研修経費（11月12・13日 鳥取県琴浦町・島根県出雲市斐川町） 583千円</p> <p>・京都府農業会議拠出金 674千円</p> <p>・農地基本台帳システムの保守費 432千円</p> <p>・その他農業委員会活動経費 666千円</p>																																					
主な財源																																						
評価・課題等	<p>○農業者等からの相談に対して、農地法に基づき適正に対応するとともに、農業者の意見を代表して要望活動を行い、経営基盤の強化に資することができた。</p> <p>○国が示す食糧自給率の向上に向けて、農地の担い手への集積や耕作放棄地の解消等農地の有効利用を促進する必要がある。</p>																																					
事業所管課	農業委員会事務局																																					

予算科目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	03農業者年金事務	
細事業名	01 農業者年金事務			決算書	P.220
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額		①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
727千円			727千円		0千円
			執行率		(参考)当初予算額
			100.0%		608千円
目的	農業者年金加入推進及び農業者年金加入者・受給者の資格管理等の事務を行い、農業者の老後生活の安定と福祉の向上を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	農業者年金加入推進及び加入者・受給者の資格管理等の事務を行った。				
	○農業者年金の裁定請求、加入推進、受給者の資格管理等に関する事務費 727千円 旅費、消耗品、燃料費、郵送料、公用車リース料等				
	○加入者・受給者の状況(平成27年3月末)				
	①加入者の状況				
	通常加入者数		32人		
	政策支援加入者数		9人		
	合計		41人		
	②受給者の状況				
	経営移譲・特例高齢・高齢年金受給者数		432人		
	○年金資格及び保険料関係・給付関係書類の処理状況(平成26年4月～平成27年3月)				
種類					
通常加入申込書		0件			
政策支援加入申込書		3件			
経営移譲年金裁定請求書		0件			
高齢年金裁定請求書		7件			
死亡届		48件			
現況届		458件			
その他届		7件			
主な財源	諸収入	農業者年金事務委託金		726千円	
評価・課題等	○農業者年金加入者及び受給者の資格管理を行い、農業者年金制度の適正運用に努めた。 ○農業者のための上乘せ年金制度であり、農業者の老後生活のために引き続き加入を促進していく必要がある。				
事業所管課	農業委員会事務局				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	07機構集積支援事業	
細事業名	01 機構集積支援事業			決算書	P.222
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額		①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
5,900千円			5,933千円		33千円
			執行率		(参考)当初予算額
			99.4%		4,699千円
目的	農地法に基づいた農地制度を円滑に実施するため、耕作放棄地対策の専門員を設置し、農地の利用調査、農地の利用調整等を行い、農地の保全を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	遊休農地利活用推進員・農地相談員を設置し、農地の利用状況調査及び農地利用調整活動を実施した。また、農地台帳の公表が義務付けになることからシステムの改修を行った。				
	○遊休農地の利用状況調査等に係る経費				
	・臨時職員共済費		492千円		
	(遊休農地利活用推進員・農地相談員 各1人)				
	・臨時職員賃金		3,116千円		
	(遊休農地利活用推進員・農地相談員 各1人)				
	・農業委員旅費		48千円		
	・職員旅費		31千円		
	・需用費(事務用品、コピー代、燃料費ほか)		532千円		
	・役務費(調査等に係る自動車損害共済保険)		16千円		
・委託料(農地台帳システム改修業務委託料)		1,393千円			
・使用料及び賃借料		272千円			
○遊休農地の利用調整の状況(平成26年4月～平成27年3月)					
種類		件数	該当面積		
調整筆数		553筆	27.0 ha		
地主面談		18件			
農家面談		64件			
交渉成立		3筆	0.48 ha		
※地主及び農家と面談の結果、ともに合意した場合のみ交渉成立となる。					
主な財源	府補	機構集積支援事業費補助金(10/10)		4,186千円	
国補	農地台帳システム整備事業費補助金(10/10)		1,393千円		
評価・課題等	○農業者の高齢化や農産物価格の長期低迷、獣害等により耕作放棄地が増加する中で、農地法に基づいて、農地の利用状況調査を実施し、農地の保全を図った。 ○今後も、農業従事者の減少・高齢化が進むことが予測される中で、耕作放棄地を解消し、農地中間管理機構を活用して、いかに有効利用を図っていくかが課題である。				
事業所管課	農業委員会事務局				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	01農業委員会費	50農業委員会一般経費		
細事業名	01 農業委員会一般経費			決算書 P.222		
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
232千円		369千円		137千円	62.8%	369千円

目的	農業委員会事務局の事務等に要する経費						
主要な事務・事業及び成果の概要	農業委員会事務局の事務等に要する経費						
	旅費（職員旅費）						2千円
	需用費（公用車のガソリン代、修理代等）						132千円
	役務費（公用車の保険料、タイヤ等処分手数料）						49千円
	使用料及び賃借料（公用車のリース料）						49千円
主な財源							
評価・課題等	農業委員会事務局事務を適切に実施するとともに、公用車の適切かつ効率的な維持管理に努めた。						
事業所管課	農業委員会事務局						

予算科目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	06有害鳥獣対策事業		
細事業名	01 有害鳥獣捕獲事業			決算書 P.242		
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
86,432千円		86,583千円		151千円	99.8%	83,696千円

目的	有害鳥獣を捕獲することで、野生鳥獣による農作物被害、営農意欲の低下、生活環境の悪化及び人身への危害を未然に防止する。						
主要な事務・事業及び成果の概要	有害鳥獣を捕獲するため猟友会に業務を委託するとともに、緊急捕獲対策事業（国）及びシカ捕獲強化事業（府）と一体化して取り組んだほか、狩猟免許及び猟銃購入費等の支援を行い、捕獲班員の確保を図った。また、有害鳥獣の捕獲に係る会議や、被害確認等を行った。						
	○報償費						1,308千円
	シカ捕獲奨励金（府）	56人					1,308千円
	○事務費等経費						254千円
	職員出張旅費						8千円
	コピー用紙、公用車燃料代、オイル交換ほか修繕料等						223千円
	自動車保険料						15千円
	有料道路使用料						8千円
	○有害捕獲委託料	(単位：頭・匹・羽)					79,549千円
	捕獲実績	イノシシ	シカ	サル	小動物	鳥類	合計
	H26	1,343	3,825	52	153	511	5,884
	(国)	1,343	3,343	52	153	511	5,402
	(府)	-	482	-	-	-	482
	H25	1,805	3,328	24	215	459	5,831
	○熊特別警戒警備委託料						78千円
○京丹後市野生鳥獣被害対策協議会負担金						4,762千円	
○捕獲支援のための補助金						481千円	
狩猟免許取得奨励補助金（補助交付者：6人）1/2補助						45千円	
猟銃所持許可更新手数料（補助交付者：15人）1/2補助						127千円	
食肉不適切等個体埋設処分支援（補助交付者：1人）1/2補助						9千円	
猟銃購入費補助金（補助交付者：2人）1/2補助						300千円	
手数料	有害鳥獣捕獲班員証明、捕獲等参加証明手数料					4千円	
府補	鳥獣被害防止緊急捕獲等対策交付金（国庫、定額）					25,113千円	
府補	有害鳥獣捕獲関係事業費補助金（1/2）					18,784千円	
府補	丹後地域広域有害鳥獣捕獲事業委託料（定額）					348千円	
市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）					14,500千円	
評価・課題等	○イノシシ、シカの捕獲数は、緊急捕獲事業（国）、シカ捕獲強化事業（府）により微増したが、農作物等の被害は微減に留まった。 ○緊急捕獲事業（27年度）の終了により、以降の捕獲頭数減少が考えられる。 ○猟友会員の高齢化により、捕獲班員の育成が必要である。						
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課						

予算科目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	06有害鳥獣対策事業		
細事業名	02 有害鳥獣防除事業			決算書 P.242		
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額
10,902千円		10,966千円		64千円	99.4 %	10,966千円
目的	サル追い払い対策の強化を行い、サルによる農作物や人身被害の拡大を防止する。					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>ロケット花火等を配付し集落ぐるみの追い払い体制を整備するとともに、サル追い払い隊を編成し、集落に出没するサルの追い払いのサポートを行った。 また、追い払い隊によるサルの行動調査や被害調査を行った。</p> <p>○消耗品費 230千円 ロケット花火、モデル銃弾ほか 229千円 モデル銃修繕料 1千円</p> <p>○サル追払業務委託料 10,672千円 シルバー人材センターへの委託実施（4班/1班4人体制） 委託期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日 活動時間：平日（月～金曜日）1日4時間（午前・午後各2時間） 業務内容：追い払いパトロール、被害状況調査、防護柵の設置・点検指導 実施地域：上宇川、下宇川、豊栄、竹野の連合区単位</p>					
主な財源						
評価・課題等	<p>○追い払い対策の実施によりサルの出沒頻度、集落での滞在時間が減少した。 ○追い払い隊の調査結果を活用し、二ホンザル個体数調整計画を策定することができた。 ○二ホンザル個体数調整計画に基づく個体数調整（捕獲）の実施に伴い、捕獲檻設置場所での追い払い隊の活動地域を制限するため、班体制を見直す必要がある。</p>					
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課					

予算科目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	06有害鳥獣対策事業																		
細事業名	05 猪・鹿肉処理施設運営管理事業			決算書 P.242																		
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																		
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率	(参考)当初予算額																
10,634千円		10,726千円		92千円	99.1 %	10,726千円																
目的	捕獲したイノシシ、シカを地域資源として活用し、地域振興を図る。																					
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>猪、鹿肉処理施設「京たんど ぼたん・もみじ比治の里」の運営委託及び施設の維持管理を行った。</p> <p>○施設運営費 10,634千円 レジ袋ほか消耗品、軽トラックガソリン代、電気代 2,008千円 電話通話料、浄化槽法定検査手数料、火災及び自動車保険料 272千円 猪・鹿肉処理委託料 7,200千円 浄化槽維持管理委託料等 419千円 施設用地賃借料等（583.4㎡） 115千円 一次処理室塗床修繕工事（36.45㎡） 475千円 パソコン購入（1台） 100千円 軽トラック車検（1台） 45千円</p> <p>参考（イノシシ、シカ処理頭数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イノシシ</td> <td>66頭</td> <td>100頭</td> <td>82頭</td> </tr> <tr> <td>シカ</td> <td>398頭</td> <td>480頭</td> <td>558頭</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>464頭</td> <td>580頭</td> <td>640頭</td> </tr> </tbody> </table>						区分	H24	H25	H26	イノシシ	66頭	100頭	82頭	シカ	398頭	480頭	558頭	合計	464頭	580頭	640頭
区分	H24	H25	H26																			
イノシシ	66頭	100頭	82頭																			
シカ	398頭	480頭	558頭																			
合計	464頭	580頭	640頭																			
主な財源	諸収入	猪・鹿肉精肉販売代金				3,040千円																
	市債	過疎地域自立促進特別事業債（過疎対策債）				4,500千円																
評価・課題等	<p>○適切な施設管理と開業時間を30分早める（平成23年度～）など搬入頭数増加のための取組により、搬入頭数が増加した。 ○搬入個体の品質により、ロースなど高額商品の生産量が増減するため販売収入が安定しない。</p>																					
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課																					

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	06元気な農村地域づくり事業																					
細事業名	01 元気な農村地域づくり事業			決算書	P.226																				
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																					
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)																				
2,326千円		2,393千円		67千円	97.2%																				
					(参考)当初予算額 2,813千円																				
目的	農業への理解を深め、展示や直販による地産地消の啓発及び地域活性化を図る。また、都市部での京丹後産農産物の販売・宣伝活動等により販路開拓・拡大を図る。																								
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	<p>市内の農業イベントを通して、市内外の消費者に対し京丹後産農作物と農業・農村の活力をPRする取組を支援した。また、都市部の農業イベントへ参加し、京丹後産農産物を販売して販路開拓と広報活動を行う農業団体等を支援した。</p> <p>○元気な農村地域づくりイベント事業補助金 2,302千円 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地 域</th> <th>イベント名</th> <th>開催日</th> <th>事業費</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大宮町</td> <td>パンプキンフェスティバル</td> <td>9/21 (日)</td> <td>172</td> <td>172</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>まるかじりまつり</td> <td>10/26 (日)</td> <td>1,689</td> <td>1,292</td> </tr> <tr> <td>弥栄・丹後町</td> <td>弥栄・丹後秋の祭典</td> <td>11/9 (日)</td> <td>1,007</td> <td>838</td> </tr> </tbody> </table> <p>○旅費 24千円 都市部のイベントに出展する農業者及び農業団体を支援するための職員参加経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摂津市農業祭(職員：2人) 4千円 日時：平成26年11月8日(土)、9日(日) 場所：摂津市役所駐車場 ※入場者数：約9,500人 参加：2団体 ・京都府農林水産フェスティバル(職員：2人) 20千円 日時：平成26年11月29日(土)、30日(日) 場所：京都府総合見本市会館(パルスプラザ) ※入場者数：約48,000人 参加：11団体 					地 域	イベント名	開催日	事業費	補助金額	大宮町	パンプキンフェスティバル	9/21 (日)	172	172	久美浜町	まるかじりまつり	10/26 (日)	1,689	1,292	弥栄・丹後町	弥栄・丹後秋の祭典	11/9 (日)	1,007	838
地 域	イベント名	開催日	事業費	補助金額																					
大宮町	パンプキンフェスティバル	9/21 (日)	172	172																					
久美浜町	まるかじりまつり	10/26 (日)	1,689	1,292																					
弥栄・丹後町	弥栄・丹後秋の祭典	11/9 (日)	1,007	838																					
主な財源	府補	未来づくり交付金(元気な農村地域づくりイベント事業補助金)			1,100千円																				
評価・課題等	<p>○市内3つのイベントを通して、地域特有の農産物や農村地域の魅力を発信できた。また、市外イベントに参加する団体等を支援することで、京丹後市農産物のPRや都市農村交流を図ることができた。</p> <p>○市内の農業イベントについて、事業目的効果を検証し、より効果を高める事業内容や運営方法等を検討する必要がある。</p>																								
事業所管課	農林水産環境部/農政課																								

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	06元気な農村地域づくり事業	
細事業名	02 都市農村共生・対流総合対策事業			決算書	P.226
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
4,000千円		4,000千円		0千円	100.0%
					(参考)当初予算額 5,600千円
目的	活力と魅力ある地域づくりを推進する団体に対し、都市農村共生・対流総合対策事業資金を一時的に貸し付け、当該団体等の活動の促進を図る。				
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	<p>農林水産省の「都市農村共生・対流総合対策事業」の採択を受けて、地域活性化に取り組む「久美浜まるごとプロデュース協議会」へ事業資金を一時的に貸し付け、久美浜地域の元気で魅力ある地域づくりを財政的に支援した。</p> <p>○都市農村共生・対流総合対策事業資金貸付金 4,000千円</p> <p>久美浜まるごとプロデュース協議会の取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■総事業費 5,959千円 ■事業期間 平成26年5月23日～平成27年3月31日 ■主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ①農産物の販路開拓・販売促進及び体験ツアーの実施 3,964千円 <ul style="list-style-type: none"> ・販路開拓とブランド化及びツアーの企画等委託費 1,512千円 ・事業実施に係る賃金、旅費ほか 1,257千円 ・マルシェ等参加、体験ツアー開催、研修費 778千円 ・久美浜版GAP研究会ブランド立上げ費用、体験ツアー専門家報酬 417千円 <p>※GAP[Good Agricultural Practice]とは、農業生産工程管理のことで、安心・安全な農産物を担保する久美浜版GAPにより久美浜の農産物のブランド化をすすめるための研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> ②人材活用 1,995千円 <ul style="list-style-type: none"> ・研修生人件費 1,435千円 ・指導賃金、研修旅費及び販路開拓随同行旅費、自動車借上料ほか 560千円 				
主な財源	諸収入	都市農村共生・対流総合対策事業資金貸付金元金収入			4,000千円
評価・課題等	久美浜まるごとプロデュース協議会を支援することで、久美浜地域の活性化に寄与することができた。				
事業所管課	農林水産環境部/農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	07都市農村交流推進事業	
細事業名	01 都市農村交流推進事業			決算書	P.228
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
632千円		810千円		178千円	78.0%
					(参考)当初予算額 810千円
目的	農林漁業体験や農家漁家への民泊によって魅力ある地域資源をアピールし、農村・漁村への誘客を図り、都市農村交流を通じて地域の活性化を図る。				
主要な 事業及び 成果の 概要	<p>農家漁家民宿開業の支援・拡大に努め、開業セミナーを開催した。また、農家民宿を活用した大学生ツアーの実施などを行った。さらに、教育旅行誘致宣伝のために関東圏の学校や修学旅行協会等を訪問した。</p> <p>○農林漁家民泊推進開業セミナー経費 388千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 講師謝金（旅費含む） 45千円 視察資料代ほか消耗品費 23千円 セミナー資料、チラシ印刷費（折込料含む） 186千円 セミナー視察研修バス代（視察資料費含む） 134千円 <p>日時：平成26年6月30日（月） 平成26年7月28日（月） 平成26年8月19日（火） 平成26年9月3日（水）～4日（木）「現地研修」</p> <p>場所：京丹後市役所及び現地研修（滋賀県日野町） 参加：26人</p> <p>○農家民宿誘致宣伝等経費（職員旅費） 63千円</p> <p>○農家民宿ツアー経費（市政10周年記念事業）バス代 181千円 調理・映像系の大学生が農家民宿に提供できる地元食材を使った食事レシピやPRビデオを作成</p>				
主な財源					
評価・課題等	<p>○体験メニューの検討や農家民宿開業セミナー等を実施し、新たに市内で4件の農家漁家民宿の申請があった。また、教育旅行や大学ゼミ等の誘致などで都市農村交流を進める基盤が形成され、農村・漁村への誘客に資することができた。</p> <p>○現在、市の旅行メニューは観光に特化したものがほとんどであるため、大学と連携しての地域づくりや農家民泊の新体験メニューの開発など、新規体験型旅行の整備開発が今後の都市農村交流の活性化において急務である。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	03クラインガルテン管理運営事業	
細事業名	01 クラインガルテン管理運営事業			決算書	P.236
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
2,333千円		2,454千円		121千円	95.0%
					(参考)当初予算額 3,023千円
目的	蒲井・旭地域振興計画に基づき施設整備した施設の維持管理を行い、短期型から滞在型観光への転換を目指し、農村と都市との交流を図り農業振興と地域活性化に資する。				
主要な 事業及び 成果の 概要	<p>農園付宿泊施設（ラウベ）及び周辺施設等の維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 需用費 445千円 消耗品費、燃料代（除雪機・草刈り機）、電気代、水道修繕料 役務費 81千円 交流会案内等郵送料、浄化槽法定検査料、ろ過ポンプ点検手数料、貯水槽等保守点検手数料、火災保険料 委託料 1,659千円 水質検査、浄化槽維持管理、施設ごみ運搬、クラインガルテン管理運営 使用料及び賃借料 148千円 土地借上料：3,475㎡ <p>〔クラインガルテン交流会の開催〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年7月5日 参加者13人 平成26年7月27日 住民祭り（蒲井・旭）参加者55人 				
主な財源	使用料	市民農園使用料	3,842千円		
評価・課題等	<p>○主に都市部からの使用者が滞る宿泊施設及び共用部分の維持管理を実施したほか、7月には使用者と地元住民の交流会が実施され、地域間交流を図ることができた。</p> <p>○平成27年度が最終年になる入居者がいることから、新たな入居者希望者を募集し、平成28年度からの入居者を決定する必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	06有害鳥獣対策事業	
細事業名	03 獣害防止里山林整備事業			決算書	P.242
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
1,300千円		1,304千円		4千円	99.6 %
1,304千円					
目的	集落周辺の森林を対象とした不要木及び不良木の伐採、下草刈など里山整備を行うことにより人と獣との緩衝帯とし、獣害を防止する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>協定締結地において、協定書に基づき森林整備事業を実施した。</p> <p>○実施箇所：大宮町三重地区</p> <p>工事請負費 1,300千円</p> <p>樹下植栽（改良） A=0.73ha 保育間伐（桧） A=0.68ha 竹林除伐 A=0.38ha 草刈・積込運搬 A=0.32ha</p>				
主な財源	府補	森林整備費補助金（獣害防止 90%）			793千円
評価・課題等	<p>○集落周辺の森林を対象とした不要木及び不良木の伐採、下草刈を行うことにより緩衝帯の整備が図れた。</p> <p>○高齢化が進んでいくので伐採跡地の継続的な維持管理課題となっている。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課				

予算科目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	01緑の公共事業												
細事業名	03 放置竹林拡大防止事業			決算書	P.246											
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興												
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額											
1,057千円		1,058千円		1千円	99.9 %											
1,039千円																
目的	人工林等に侵入した竹の伐採等により森林の有する多面的機能の維持増進を図る。また、伐採竹を資材として利用することで資源の有効活用を図る。															
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>放置竹林による森林侵食を防ぐため、森林に侵入した竹林の伐採を行うとともに、伐採竹の有効活用（竹肥、竹炭）を図るため搬出を行った。</p> <p>○放置竹林拡大防止工事 1,057千円</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">実施箇所</th> <th colspan="2">事業量</th> </tr> <tr> <th>整理伐</th> <th>竹材搬出</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>峰山町内記地内</td> <td>0.11ha</td> <td>678本</td> </tr> <tr> <td>大宮町五十河地内</td> <td>0.10ha</td> <td>725本</td> </tr> </tbody> </table>					実施箇所	事業量		整理伐	竹材搬出	峰山町内記地内	0.11ha	678本	大宮町五十河地内	0.10ha	725本
実施箇所	事業量															
	整理伐	竹材搬出														
峰山町内記地内	0.11ha	678本														
大宮町五十河地内	0.10ha	725本														
主な財源	府補	緑の公共事業費補助金（1/2）			527千円											
評価・課題等	<p>○人工林等に侵入した放置竹林の伐採及び過年度に整理伐をした箇所の笹類の刈払いにより、竹による森林侵食を防止するとともに、伐採竹の資源としての有効活用（竹肥、竹炭）が図れた。</p> <p>○伐採跡地の適正な管理が課題となっている。</p>															
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課															

予算科目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	02松くい虫防除事業	
細事業名	01 松くい虫防除事業			決算書	P.246
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
16,699千円		16,707千円		8千円	99.9%
					(参考)当初予算額 17,606千円
目的	海岸松林を松くい虫被害から守り、海岸沿い防風林の機能確保並びに風致景観等の保全を図る。				
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	海岸沿いの防風林（網野町、丹後町、久美浜町）の機能確保及び風致景観等の保全を図るため、無人ヘリコプターによる薬剤散布、過年枯れ松の伐倒処理、当年枯れの松の焼却駆除、樹幹注入を行った。				
	・	消耗品費（樹幹注入表示板：800枚）		24千円	
	・	松くい虫防除事業委託料（単費・春期：被害木伐倒処理）		313千円	
		委託先	事業実施箇所	本数	材積
		丹後地区森林組合	網野町木津地内	406本	50m ³
	・	松くい虫防除事業委託料（奨励・春期：無人ヘリ）		1,404千円	
		委託先	事業実施箇所	面積	
		丹後地区森林組合	網野町掛津地内ほか	14.0ha	
	・	松くい虫防除事業委託料（秋期：樹幹注入）		11,556千円	
		委託先	事業実施箇所	本数	薬剤本数
	丹後地区森林組合	丹後町間人地内ほか	602本	3,508本	
・	松くい虫防除事業委託料（奨励・秋期：特別伐倒駆除）		3,402千円		
	委託先	事業実施箇所	本数	材積	
	丹後地区森林組合	網野町遊地内ほか	1,415本	107m ³	
主な 財源	府補	松くい虫駆除防除事業費補助金（1/2）		156千円	
	府補	松くい虫駆除防除事業費補助金（3/4）		1,053千円	
	府補	松くい虫駆除防除事業費補助金（3/4）		6,705千円	
	府補	松くい虫駆除防除事業費補助金（2/3）		1,743千円	
	府補	松くい虫駆除防除事業費補助金（3/4）		2,552千円	
評価・ 課題等	○予防作業として無人ヘリコプターによる薬剤散布を行うなど、松くい虫被害の蔓延防止を図れた。				
	○今後も異常気象により広範囲にわたって大きな被害が出るのが懸念されるため、松くい虫被害木の適切な処理を行っていく必要がある。				
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課				

予算科目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	03森林整備事業		
細事業名	01 森林施業路開設事業			決算書	P.246	
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興		
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	
3,720千円		3,721千円		1千円	99.9%	
					(参考)当初予算額 0千円	
目的	作業道開設に対する国・府森林整備事業への上乗せ補助を行い、森林所有者の負担軽減を図り、健全な森林の造成、多面的機能の増進、森林の有効利用を図る。					
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	森林組合が森林所有者から受託して実施する作業道の開設について補助金を交付した。					
	○	森林施業路開設補助金		3,720千円		
		※補助率：国、京都府の森林整備事業における査定経費の50%以内				
		森林環境保全直接支援事業		(単位：m、千円)		
		実施箇所	路線名	延長	幅員	事業費
		久美浜町坂谷地内	フコ谷線 1~2-1	1,800	2.5	9,064
		峰山町鱒留地内	滝谷線 3~7	975	2.5	4,908
		網野町日和田地内	峠谷3線 無番線	1,250	3.0	8,451
		久美浜町金谷地内	北谷線1~3 西谷線1~3	2,690	3.0	17,350
		計		6,715		39,773
	事業実施主体：丹後地区森林組合					
主な 財源						
評価・ 課題等	○森林施業路開設を希望する森林所有者の負担軽減を図るとともに、間伐等の施業の推進を図った。					
	○施業路を開設する場所によって、開設費や維持管理費、間伐作業に要する費用が変わってくる。効率的・計画的な施業路開設と効率的な間伐作業のため、当初計画時に現場の状況を調査し、施業路の開設箇所を適切に選定する必要がある。					
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課					

予算科目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	03森林整備事業	
細事業名	02 間伐施業事業			決算書	P.246
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
3,547千円		3,547千円		0千円	100.0%

目的 間伐等に対する国・府森林整備事業への上乗せ補助を行い、森林所有者の負担軽減を図ることで、森林整備を促進し、京丹後市の豊かな自然環境を保全する。

主要な事務・事業及び成果の概要

森林組合が森林所有者から受託して実施する間伐等について補助金を交付した。

○間伐施業事業補助金 3,547千円
※補助率：国、京都府の森林整備事業における査定経費の20%以内

森林環境保全直接支援事業 (単位：ha、千円)

実施箇所	面積	事業費	補助金
峰山町鱒留地内	19.85	7,393	1,479
網野町日和田地内	7.04	5,541	1,048
久美浜町金谷地内	6.48	5,100	1,020
計	33.37	18,034	3,547

事業実施主体：丹後地区森林組合

主な財源

評価・課題等

○間伐等の促進により、健全な森林の造成、多面的機能の増進に寄与した。
○木材価格の低迷により、林業の採算性が低下している中、山の作業を控える森林所有者が多くなっている。効率的・計画的な施業路の設定など、間伐作業等が効率的に行えるよう努め、森林所有者の負担軽減を図り、間伐等を促進する必要がある。

事業所管課 農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	05市行造林事業	
細事業名	01 市行造林事業			決算書	P.246
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
9,026千円		9,027千円		1千円	99.9%

目的 計画的な保育施業を実施し、市行造林地内における植栽木の財産造成と森林機能の確保を図る。

主要な事務・事業及び成果の概要

市行造林契約地において、分収契約に基づき、計画的に保育施業を実施した。

○保育施業工事 8,313千円

工種	施業地	事業量	金額
間伐・作業路開設	久美浜町坂谷	10.25ha・1,670m	8,313千円

○補償補填及び賠償金(間伐材売払代金収益配当) 336千円

地区	搬出量	金額
久美浜町坂谷	313m ³	336千円

○過年度府支出金返還金 377千円

主な財源

府補 森林整備費補助金(85%) 7,065千円
財産収入 分収林売払収入 336千円

評価・課題等

○造林地の保育施業を計画的に行うことにより、植木の成長を促進し、財産価値を確保するとともに、森林の二酸化炭素の吸収効果が高まり、地球温暖化防止等、森林の多面的機能の確保に寄与した。今後も継続的に行っていく必要がある。
○木質バイオマス供給施設の稼働に伴い、今日まで林内に放置してきた未利用材を搬出することにより資源の有効活用が図れた。
○木材価格の低迷により、採算性が低下していることが課題となっている。

事業所管課 農林水産環境部／農林整備課

予算科目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	06林道整備事業													
細事業名	01 小規模林道整備事業補助金			決算書	P.246												
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興													
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)												
669千円		750千円		81千円	89.2%												
					(参考)当初予算額 750千円												
目的	地元営小規模林道整備事業に係る機械借上料、原材料費について支援を行い、林道の適正な維持管理・保全を図る。																
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>各地区が実施する小規模な林業用施設の維持管理及び保全に対して支援を行った。</p> <p>・小規模林道整備事業支援補助金 669千円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>箇所数</th> <th>補助金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>網野町</td> <td>1</td> <td>148,824</td> </tr> <tr> <td>久美浜町</td> <td>3</td> <td>520,473</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4</td> <td>669,297</td> </tr> </tbody> </table>					区分	箇所数	補助金額(円)	網野町	1	148,824	久美浜町	3	520,473	合計	4	669,297
区分	箇所数	補助金額(円)															
網野町	1	148,824															
久美浜町	3	520,473															
合計	4	669,297															
主な財源																	
評価・課題等	<p>○地元自治会が行う林道等の整備に対して、資材等を支援することで、早期に現状回復が図られ林道の適正な維持管理と保全が図られた。</p> <p>○高齢化の進行により将来的に林道の適正な維持管理が困難になることが予想される。</p>																
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課																

予算科目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	06林道整備事業	
細事業名	02 林道等整備事業			決算書	P.246
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
6,619千円		6,623千円		4千円	99.9%
					(参考)当初予算額 7,548千円
目的	森林機能の確保と森林資源の活用保全に資する森林内作業を容易にするため、林道の適切な維持管理を行う。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>森林の活用と保全のために必要な林道等の適正な維持管理（草刈、修繕）を実施した。</p> <p>○消耗品費（製図用品） 32千円</p> <p>○修繕料（2件） 677千円 丹後縦貫林道（成相線・奥寄線）溝蓋修繕ほか</p> <p>○委託料 3,871千円 治山・林道積算システム保守管理委託料 365千円 丹後縦貫林道維持管理業務委託料（大鼓山線、奥寄線） 3,506千円</p> <p>○丹後縦貫林道維持管理負担金（成相線、大内線） 1,312千円</p> <p>○工事請負費 727千円 ミソソ谷線ほか1線道路維持工事（鋼製グレーチング蓋設置 N=35枚）</p>				
主な財源					
評価・課題等	<p>森林整備を行うために必要な林道の適正な維持管理を行い、民有林等の森林整備の実施に寄与するとともに通行車両等の安全確保が図られた。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課				

予算科目	11災害復旧費	01農林水産業施設災害復旧費	02林業用施設災害復旧費	01現年発生林業用施設災害復旧事業	
細事業名	01 現年発生林業用施設災害復旧事業			決算書	P.384
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
1,307千円		1,330千円		23千円	98.2%
					(参考)当初予算額 0千円
目的	災害復旧事業の実施及び補助金交付を行い、災害により被災した林業用施設の機能回復を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>災害により被災を受けた林業用施設について、従前の機能を回復させることにより、林業経営の安定を図るため、復旧工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○需用費修繕料 130千円 峰山町（1路線1か所） ○負担金、補助及び交付金 1,177千円 小規模災害復旧事業支援補助金（5件） 				
主な財源					
評価・課題等	災害により被災した林業用施設の復旧工事を実施することにより、民有林等の森林整備の実施に寄与するとともに通行車両等の安全確保が図れた。				
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課				

予算科目	11災害復旧費	01農林水産業施設災害復旧費	02林業用施設災害復旧費	01現年発生林業用施設災害復旧事業	
細事業名	01 現年発生林業用施設災害復旧事業（繰越）			決算書	P.384
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
17,306千円		25,627千円		8,321千円	67.5%
					(参考)当初予算額 25,627千円
目的	災害復旧事業の実施及び補助金の交付を行い、災害により被災した林業用施設の機能回復を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成25年9月15日～16日にかけての台風18号により被災を受けた林業用施設について、従前の機能を回復させることにより、林業経営の安定を図るため、復旧工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員手当等（時間外勤務手当） 51千円 ○負担金、補助及び交付金 1,064千円 小規模災害復旧事業支援補助金（5件） ○工事請負費 16,191千円 補助災害復旧工事 峰山町（2路線2か所）、丹後町（1路線2か所）、久美浜町（2路線2か所） 単独災害復旧工事 網野町（1路線1か所） 				
主な財源	府補 市債	林業用施設災害復旧費補助金 林業用施設災害復旧事業債			11,577千円 3,100千円
評価・課題等	災害により被災した林業用施設の復旧工事を実施することにより、民有林等の森林整備の実施に寄与するとともに通行車両等の安全確保が図れた。				
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課				

予算科目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	03林業労働者支援事業																																					
細事業名	01 林業労働者支援事業			決算書	P.242																																				
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興																																					
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)																																				
4,056千円		4,057千円		1千円																																					
				執行率	(参考)当初予算額																																				
				99.9%	5,197千円																																				
目的	林業労働者の福祉の向上を図り、林業労働者の確保と地域林業の振興に寄与する。また、森林組合の基幹的作業員の福利厚生の充実と新規若年者の確保及び定着を図る。																																								
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>森林組合の作業班員の雇用確保及び定着を図るため、林業労働者の共済事業加入経費の一部を支援した。</p> <p>また、組合が基幹的作業班員の福利厚生対策として加入する社会保険加入の事業主負担の一部を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○林業労働者新共済事業補助金 2,088千円 (長期事業：府1/4、市1/4、退職金助成・組合助成事業：府1/2、市1/2) ・年間就労日数が100日以上の上の就労者に対し、長期事業、退職金助成、組合助成を行った。 ・補助単価： 長期事業 410円/日 退職金助成事業 45円/日 組合助成事業 25円/日 ・補助対象： 丹後地区森林組合 (単位：人、日、千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>就労実人数</th> <th>延日数</th> <th>事業費</th> <th>補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長期事業</td> <td>21</td> <td>4,342</td> <td>3,560</td> <td>1,780</td> </tr> <tr> <td>退職金助成事業</td> <td>1(団体)</td> <td>4,392</td> <td>308</td> <td>308</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>3,868</td> <td>2,088</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○緑の担い手育成事業補助金(府1/2、市1/4) 1,968千円 ・年間就労日数200日以上の上の作業班員の社会保険加入に係る事業主負担を補助した。 ・補助対象：丹後地区森林組合 (単位：日、千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>延べ就労日数</th> <th>事業費</th> <th>補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康保険</td> <td>1634.4</td> <td>1,023</td> <td>767</td> </tr> <tr> <td>厚生年金</td> <td>1634.4</td> <td>1,601</td> <td>1,201</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>2,624</td> <td>1,968</td> </tr> </tbody> </table> <p>対象作業員数：9人</p>					区分	就労実人数	延日数	事業費	補助金	長期事業	21	4,342	3,560	1,780	退職金助成事業	1(団体)	4,392	308	308	計			3,868	2,088	区分	延べ就労日数	事業費	補助金	健康保険	1634.4	1,023	767	厚生年金	1634.4	1,601	1,201	計		2,624	1,968
区分	就労実人数	延日数	事業費	補助金																																					
長期事業	21	4,342	3,560	1,780																																					
退職金助成事業	1(団体)	4,392	308	308																																					
計			3,868	2,088																																					
区分	延べ就労日数	事業費	補助金																																						
健康保険	1634.4	1,023	767																																						
厚生年金	1634.4	1,601	1,201																																						
計		2,624	1,968																																						
主な財源	府補	林業労働者新共済事業費補助金(1/4)	1,043千円																																						
	府補	緑の担い手育成事業費補助金(1/2)	1,312千円																																						
評価・課題等	<p>○林業労働者の確保及び地域林業の振興を図ることができた。</p> <p>○森林の維持管理を担う森林組合の基幹的作業員の福利厚生の充実が図れた。</p> <p>○林業に従事する労働者は高齢化してきており、若年者の安定的な確保を図る必要がある。</p>																																								
事業所管課	農林水産環境部/農林整備課																																								

予算科目	06農林水産業費	02林業費	01林業総務費	50林業総務一般経費	
細事業名	01 林業総務一般経費			決算書	P.244
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
703千円		793千円		90千円	
				執行率	(参考)当初予算額
				88.6%	681千円
目的	林業振興を推進するための業務に必要な経費と各種林業関連団体への負担金の支出及び市内の林業関係者の連携、情報交流の場の提供を行い、木材利用の普及促進を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>林業振興を推進するため、業務に必要な経費及び各種林業関連団体へ負担金等を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費(会議等) 181千円 ○消耗品費 64千円 ○有料道路通行料 22千円 ○負担金 <ul style="list-style-type: none"> ・京都府水源林造林協議会負担金 36千円 ・京都府林業振興会等負担金 400千円 				
主な財源					
評価・課題等	<p>○事務の適切な執行により、林業振興の推進を図ることができた。</p> <p>○木材利用を普及促進するため、「木育ネットワーク」を立ち上げ、市内の林業関係者の連携、情報交流の場の提供が図れた。</p>				
事業所管課	農林水産環境部/農林整備課				

予算科目	06農林水産業費	02林業費	02森林整備費	03森林整備事業	
細事業名	05 木質バイオマス利用促進事業（繰越）			決算書	P.246
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
58,534千円		58,583千円		49千円	99.9%
					(参考)当初予算額 58,583千円
目的	農作物等への獣害の軽減を担う森林整備を促進するために、必要な木材流通・加工施設の整備に対して補助金を交付し、森林が持つ公益的機能を確保する。				
主要な事業・事業及び成果の概要	<p>森林整備・循環型社会の促進を目的に、これまで放置されてきた間伐材等を原料とした木質バイオチップを製造し有効活用が図れた。</p> <p>○負担金、補助及び交付金 木質バイオマス利用促進事業補助金 58,534千円 平成25年度と合わせた補助金総額 207,564千円（全体事業費 275,901千円） 補助金交付先：株式会社丹後グリーンバイオ 施設設置場所：京丹後市大宮町森本777番地</p> <p>【整備内容】 作業棟 1棟（380㎡） 保管庫（チップヤード） 1棟（250㎡） 保管庫（パークダストヤード） 1棟（100㎡） 木質バイオマスチップ製造設備 1式 グラブソール 1台他</p>				
主な財源					
評価・課題等	<p>○木材流通・加工施設の整備に対して補助金を交付し、森林が持つ公益的機能（土砂流出防止、水源かん養等）の確保、農作物等への獣害の軽減を担う森林整備を促進するために、必要な施設の整備が図れた。</p> <p>○安定した木材の調達が課題である。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農林整備課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	02農業総務費	50農業総務一般経費							
細事業名	01 農業総務一般経費			決算書	P.224						
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興							
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)						
5,854千円		9,420千円		3,566千円	62.1%						
					(参考)当初予算額 8,031千円						
目的	農業行政を推進するための業務に必要な経常経費及び各種農業関連団体への負担金を支出し、農業振興を図る。										
主要な事業・事業及び成果の概要	<p>農業行政を推進するため必要な経常経費及び各種農業関連団体への負担金を支出した。</p> <p>○農業総務一般経費 5,854千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 267千円 ・需用費 796千円 <ul style="list-style-type: none"> 事務消耗品、公用車燃料代、修繕等 ・役務費 239千円 <ul style="list-style-type: none"> 公用車廃車手数料、公用車保険料等 ・委託料 1,793千円 <ul style="list-style-type: none"> 農業総合地図情報システム保守等委託料 ・使用料及び賃借料 101千円 <ul style="list-style-type: none"> 有料道路通行料、駐車場使用料 ・負担金、補助及び交付金 1,775千円 <ul style="list-style-type: none"> 全国中山間地域振興対策協議会負担金、野菜等経営安定対策事業負担金、丹後米改良協会負担金ほか会費等 ・償還金利子及び割引料 845千円 <ul style="list-style-type: none"> 過年度農村地域農業構造改善事業補助金返還金 ・公課費 38千円 <ul style="list-style-type: none"> 公用車重量税 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>5,954千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>98.3%</td> </tr> </table> <p>■平成27年度への繰越事業 農業総合地図情報システム更新経費 3,466千円 ※平成27年9月完了予定</p>					参考	繰越明許費を除いた最終予算額	5,954千円		実質的な予算執行率	98.3%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	5,954千円									
	実質的な予算執行率	98.3%									
主な財源	諸収入	野菜等経営安定対策事業負担金返還金	58千円								
	諸収入	過年度農村地域農業構造改善事業補助金返還金	1,221千円								
評価・課題等	<p>○農業行政の推進が適切に図れた。</p> <p>○公用車の老朽化が進み維持管理及び修理代が増加傾向にあるため、計画的な車両更新が必要である。</p>										
事業所管課	農林水産環境部／農政課										

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	06元気な農村地域づくり事業												
細事業名	03 明日の京都村づくり事業			決算書 P.226												
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興												
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)												
1,199千円		1,199千円		0千円												
				執行率 (参考) 当初予算額												
				100.0 % 825千円												
目的	地域の実情に応じた「京都村づくりプラン」の策定と、あらゆる地域資源を活用した「一村一業」活動を支援することにより、地域の活性化を図る。															
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	<p>旧村等の集落及び集落連携体による「京都村づくりプラン」の策定や活動を支援し、農村地域の活性化を図る取組に対して補助金を交付した。</p> <p>○明日の京都村づくり事業補助金 1,199千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・網野町掛津地区（3か年事業のうち2年目） 「琴引浜や地域にある資源を活かした体験型観光や交流等のビジネスを育てる」ことを目的とした「明日の掛津村プラン」を基に、小中学生の森林整備体験を通しての環境保全意識の向上や地区観光ガイドなどを育成するうえでの体制整備を実施した。 ・久美浜町平田地区（3か年事業のうち1年目） 「観光果樹農園を開設し観光客の増加を図る。また、地元高校生等と連携し農業後継者の育成を図る」ことを目的としてプランを策定した。 また、葡萄・桃苗を購入し、高校生と定植し農園の整備を行った。 ・網野町三津地区（3か年事業のうち1年目） 「漁港朝市を開設し、また定置網漁をメニューとした教育旅行を実施して、三津区活性化及び交流人口の増加を図る」ことを目的としてプランを策定した。 また、漁業体験の先進地視察を行った。 <p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業費</th> <th>補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>掛津地区</td> <td>656</td> <td>352</td> </tr> <tr> <td>平田地区</td> <td>1,556</td> <td>825</td> </tr> <tr> <td>三津地区</td> <td>40</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>					事業費	補助金	掛津地区	656	352	平田地区	1,556	825	三津地区	40	22
	事業費	補助金														
掛津地区	656	352														
平田地区	1,556	825														
三津地区	40	22														
主な財源	府補 明日の京都村づくり事業費補助金 (1/2)			1,090千円												
評価・課題等	○プラン策定を支援し、またそのプランを基に地域の活性化に資することができた。 ○今後、地域資源を活かした体験型観光や交流等により、地域外貨を獲得するビジネスモデルを検討し、集落ぐるみでの活動へと展開していくことが必要である。															
事業所管課	農林水産環境部／農政課															

予算科目	06農林水産業費	01農業費	03農業振興費	10里の人づくり事業
細事業名	01 里の人づくり事業			決算書 P.228
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
7,500千円		7,500千円		0千円
				執行率 (参考) 当初予算額
				100.0 % 7,500千円
目的	過疎・高齢化が進む農村地域において里力再生推進委員や住民団体が構成する「地域連携組織」が取り組む再生計画づくりや活動を支援し農村地域の再生を図る。			
主要な 業務・ 事業及 び成果 の概要	<p>過疎・高齢化が進む農村地域の複数集落による「地域連携組織」が策定した里力再生計画に基づいた活動を支援し、農村地域の取組みに補助金を交付した。</p> <p>○里の人づくり事業補助金 7,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐濃地域（3か年事業のうち3年目） 1,500千円 里力再生計画に基づき、高齢者のいこいサロン「スター」を週2回開設し、朝市の実施、グリーン作戦として環境保全活動を実施した。また少子化・定住化を目的とした婚活事業である若者交流事業「PBS」を開催した。 ・大宮南地域（3か年事業のうち3年目） 1,500千円 里力再生計画に基づき、花いっぱい運動の拡大、自主防災組織の拡充、加工グループの結成、コンビニと提携した手づくり市の試行開催、都市部女性を対象に少子化・田舎暮らしを目的とした婚活事業「田舎コン」を開催した。 ・久美浜二区地域（3か年事業のうち2年目） 1,500千円 里力再生計画に基づき、久美浜町イベントのまるかじりまつりに出店、ノルディックウォークの開催を実施した。また地区のこどもの活動の場として、月1回の子ども広場を開催し、子供の交流を図った。 ・海部地域（3か年事業のうち2年目） 1,500千円 里力再生計画に基づき、朝市の開催、子供とお年寄りの交流の場の料理教室、ものづくり講座を開催した。あまべハートサロンを開設し、お年寄りの憩いの場を設けた。健康づくりとしてノルディックウォーク講習会を開催した。 ・三重・森本地域（3か年事業のうち2年目） 1,500千円 里力再生計画に基づき、両地区イベント万灯の共同化、赤米の田植、手刈り体験の実施、グリーン作戦として環境保全活動を実施した。また両地区の史跡やイベント等を掲載した小冊子「まんぐるわ」を発行した。 			
主な財源	府補 里の人づくり事業費補助金 (1/2)			3,750千円
評価・課題等	○過疎・高齢化が進む農村地域の複数集落が実施する事業であり、それぞれの集落の実情を住民主体で把握し、複数集落で話し合い活動を行うことで、現状の課題や将来像を見据えた計画を策定し、その計画に基づく活動を行うなど、住民自らが望む地域づくりの取組が図れた。 ○事業期間が終了した集落についても、現在でも集落間地域づくり活動を実施しており、活動の継続が図れるよう助言等の継続した支援が必要である。			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			

予算科目	06農林水産業費	01農業費	05水田農業振興費	01水田農業振興推進事業	
細事業名	01 水田農業振興推進事業			決算書	P.232
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
8,684千円		8,696千円		12千円	99.8%
					(参考)当初予算額 11,814千円
目的	経営所得安定対策等を円滑に実施し、農家の農業経営の安定を図ることにより、農業の振興を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>経営所得安定対策等に係る推進活動や要件確認等を実施し、農家の農業経営の安定化を支援した。</p> <p>○経営所得安定対策等推進事業に係る経費 8,684千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員時間外勤務手当等 1,510千円 ・臨時職員賃金等(3人) 4,160千円 ・経営所得安定対策推進謝金(184集落) 320千円 ・転作現地確認謝金(98集落) 1,178千円 ・事務等経費 1,516千円 (旅費、消耗品費、燃料費、印刷製本費、郵送料ほか) 				
主な財源	府補	数量円滑化推進事業費補助金(10/10)		684千円	
	府補	経営所得安定対策推進事業費補助金(10/10)		8,000千円	
評価・課題等	<p>○農家の経営所得安定対策等への加入推進や交付金の受領等に係る事務を行い、多くの農家が安心して農業経営を行うことができた。</p> <p>○農家の経営安定と米の需給調整につながる経営所得安定対策等に多くの農家の加入を促す必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部/農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	07畜産業費	50畜産振興一般経費	
細事業名	01 畜産振興一般経費			決算書	P.234
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
38千円		45千円		7千円	84.4%
					(参考)当初予算額 46千円
目的	畜産行政事務及び畜産振興の円滑な推進を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>飼育状況調査の実施並びに家畜防疫に必要な事務を実施した。</p> <p>○畜産振興の円滑な推進に係る経費 8千円 職員旅費、消耗品費</p> <p>○京都府畜産振興協会会費 30千円</p>				
主な財源	府委	家畜伝染病予防事務委託金		7千円	
評価・課題等	畜産行政事務及び畜産振興の円滑な推進が図れた。				
事業所管課	農林水産環境部/農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	01アグリセンター-管理運営事業																									
細事業名	01 アグリセンター-管理運営事業			決算書	P.234																								
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興																									
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額																								
7,264千円		7,274千円		10千円	99.8 %																								
					7,269千円																								
目的	アグリセンター大宮の維持管理及び運営を行い、市内の農業関係者や農村地域のリーダー育成及び市民福祉の向上に寄与する。																												
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>市内の農業関係者の知識・技術習得及び農村地域のリーダー人材育成に係る研修や講演の会場として、さらに教育・福祉・産業に関する各種会議への活用により、地域農林業の振興並びに地域福祉の増進が図れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需用費 4,205千円 消耗品費、光熱水費、修繕料（舞台吊物機構、トイレ小便器、玄関ホール天窓、調理室コンロ、多目的ホール照明設備、駐車場マンホール、図書室照明器具安定器等） ・役務費 通信運搬費、火災保険料 53千円 ・委託料 2,959千円 <p>施設清掃、空調設備保守点検、消防設備等保守点検、エレベーター保守管理、自動ドア保守点検、アグリセンター管理、設備保守管理、移動観覧席点検、害虫駆除、グリストラップ処理、特殊建築物・設備定期報告業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用料及び賃借料 テレビ受信料、清掃用具借上料 47千円 <p>(参考) 利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>利用件数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農業技術研修室</td> <td>311件</td> <td>3,344人</td> </tr> <tr> <td>視聴覚教育室</td> <td>282件</td> <td>4,541人</td> </tr> <tr> <td>地域活性化研修室</td> <td>234件</td> <td>2,741人</td> </tr> <tr> <td>多目的ホール（エントランス含む）</td> <td>200件</td> <td>16,017人</td> </tr> <tr> <td>調理加工実習室</td> <td>65件</td> <td>1,115人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,092件</td> <td>27,758人</td> </tr> <tr> <td>農業文献等教養学習室（大宮図書館）</td> <td>64,278冊</td> <td>11,274人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※農業文献等教養学習室の利用件数は、図書の貸し出し冊数</p>					区分	利用件数	利用人数	農業技術研修室	311件	3,344人	視聴覚教育室	282件	4,541人	地域活性化研修室	234件	2,741人	多目的ホール（エントランス含む）	200件	16,017人	調理加工実習室	65件	1,115人	合計	1,092件	27,758人	農業文献等教養学習室（大宮図書館）	64,278冊	11,274人
区分	利用件数	利用人数																											
農業技術研修室	311件	3,344人																											
視聴覚教育室	282件	4,541人																											
地域活性化研修室	234件	2,741人																											
多目的ホール（エントランス含む）	200件	16,017人																											
調理加工実習室	65件	1,115人																											
合計	1,092件	27,758人																											
農業文献等教養学習室（大宮図書館）	64,278冊	11,274人																											
主な財源	使用料 公有財産使用料 140千円	使用料 アグリセンター-使用料 1,343千円																											
評価・課題等	<p>○農林業の振興に係る研修会及び講演会の会場として活用できた。</p> <p>○農林分野だけでなく、福祉や教育など幅広い分野で施設利用が図られた。</p> <p>○築19年を経過する中で設備や機材の老朽化が目立つようになっているため、計画的な修繕を実施するなど適切な施設管理を行う必要がある。</p>																												
事業所管課	農林水産環境部／農政課																												

予算科目	06農林水産業費	01農業費	08農業関連施設費	02農業関連施設管理運営事業	
細事業名	01 農業関連施設管理運営事業			決算書	P.234
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)	執行率 (参考) 当初予算額
1,145千円		1,152千円		7千円	99.3 %
					1,825千円
目的	農業関連施設及び弥栄農家用貸付住宅等の適切な維持管理を行うことにより、農業施策を推進する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>農業関連施設、京丹後市弥栄農家用貸付住宅（4棟）、弥栄都市農村交流施設を適切に管理したほか、これらを含む農業関連施設（30施設）の火災保険に加入した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業関連施設火災保険料（30施設） 201千円 ○弥栄都市農村交流実践施設（もんやこ）維持管理 104千円 <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理経費（燃料費、光熱水費） 37千円 ・消防設備等点検委託料 9千円 ・浄化槽維持管理委託料 58千円 ○弥栄農家用貸付住宅維持管理 64千円 <ul style="list-style-type: none"> ・修繕 3号住宅（天井張替え、障子張替え） ○久美浜総合交流販売施設（くみはまSANKAIKAN）維持管理 740千円 <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場用地借上料（2,724㎡） 379千円 ・塔屋修繕工事 361千円 ○神野農産物加工施設 6千円 <ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費 5千円 ・水道開栓手数料 1千円 ○近畿「道の駅」連絡会会費 30千円 				
主な財源	使用料 貸付農家住宅使用料 1,092千円	諸収入 市有建物火災保険料負担金（神野農産物加工施設） 5千円	諸収入 神野農産物加工施設電気料 2千円		
評価・課題等	<p>○農業関連施設及び弥栄農家用貸付住宅等の維持管理を行い、多くの使用者に適切に使用してもらうことができた。</p> <p>○建築後年数が経過した建物もあることから利用者に安全な施設として活用されるよう、修繕及び適切な施設管理を行う必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／農政課				

予算科目	06農林水産業費	01農業費	11府営土地改良事業費	05農業競争力強化基盤整備事業
細事業名	02 構造改革促進事業			決算書 P.240
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	② 農林業の振興
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
	1,000千円	1,002千円	2千円	執行率 99.8%
				(参考) 当初予算額 1,001千円
目的	土地利用調整、法人を中心とした土地利用の研修等を支援し、経営体育成基盤整備事業（女布地区）完了後の適正な農業経営を推進する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>ほ場整備を行なう土地改良組合に対して、土地利用調整、土地利用の研修を行った。</p> <p>○経営体育成促進事業 1,000千円 （先進地視察）</p> <ul style="list-style-type: none"> 視察日：平成27年2月28日（土）～3月1日（日） 視察先：山口県山口市（株式会社秋川牧園） 参加者：21人 （土地改良組合員18人、府農業改良普及センター職員1人、市職員2人） 視察内容：有機農業、6次産業、宅配サービス、ウェブ通販事業など <ul style="list-style-type: none"> 旅費（視察研修） 264千円 消耗品費 171千円 通信運搬費 57千円 先進地視察バス借上料 327千円 備品購入費（パソコン1台、プリンター1台） 181千円 			
主な財源	分担金	構造改革促進事業分担金（1/10）		100千円
	府補	構造改革促進事業補助金（8/10）		800千円
評価・課題等	<p>○担い手法人への農地集積を計画していく中で、土地利用に係る研修を行い、地域農業の推進体制の強化を図ることができた。</p> <p>○担い手法人への集積を円滑に進めるため、地元住民の合意が必要となってくるとともに、ほ場整備の効果を高めるための産地形成に対する継続した支援が必要である。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／農政課			